

# 資 料 編

- 資料Ⅰ 組合圏域におけるごみ処理体系の経過
- 資料Ⅱ 組合圏域におけるごみ処理の流れ
- 資料Ⅲ 組合圏域におけるごみ処理の実績
- 資料Ⅳ 組合圏域におけるごみ収集体制
- 資料Ⅴ 組合圏域における最終処分場の概要
- 資料Ⅵ ごみ減量化・資源化の施策
- 資料Ⅶ ごみの性状（可燃ごみ組成調査結果）
- 資料Ⅷ 将来人口の推計
- 資料Ⅷ 災害ごみに関する状況



# 目 次

資料Ⅰ	組合圏域におけるごみ処理体系の経過	
1.	ごみ処理体系の変遷	資Ⅰ- 1
2.	分別区分とごみ処理体制	資Ⅰ- 2
資料Ⅱ	組合圏域におけるごみ処理の流れ	
1.	姫路市安富地域におけるごみ処理フロー	資Ⅱ- 1
2.	たつの市新宮地域におけるごみ処理フロー	資Ⅱ- 2
3.	宍粟市におけるごみ処理フロー	資Ⅱ- 3
4.	上郡町におけるごみ処理フロー	資Ⅱ- 4
5.	佐用町におけるごみ処理フロー	資Ⅱ- 5
資料Ⅲ	組合圏域におけるごみ処理の実績	
1.	ごみ排出量の実績	資Ⅲ- 1
2.	ごみ処理量の実績	資Ⅲ- 7
3.	ごみ処理フロー	資Ⅲ-13
資料Ⅳ	組合圏域におけるごみ収集体制	
1.	収集形態及び収集回数	資Ⅳ- 1
資料Ⅴ	組合圏域における最終処分場の概要	資Ⅴ- 1
資料Ⅵ	ごみ減量化・資源化の施策	
1.	指定袋の価格及び直接搬入による有料化の状況	資Ⅵ- 1
2.	ごみ減量化・資源化のための助成及び補助の状況	資Ⅵ- 2
資料Ⅶ	ごみの性状（可燃ごみ組成調査結果）	資Ⅶ- 1
資料Ⅷ	将来人口の推計	
1.	計画目標年次	資Ⅷ- 1
2.	将来人口の予測	資Ⅷ- 1
資料Ⅸ	災害ごみに関する状況	
1.	災害発生状況	資Ⅸ- 1
2.	災害ごみへの対応	資Ⅸ- 1
3.	災害ごみの処理	資Ⅸ- 2



## 資料 I 組合圏域におけるごみ処理体系の経過

### 1. ごみ処理体系の変遷

組合圏域の自治体は、市町合併によるごみ処理体制の変更等があり、近年のごみ収集及びごみ処理体系の変遷を以下に整理した。

#### 1) 姫路市安富地域

旧安富町域の生活系ごみ収集は、平成17年4月の宍粟市誕生まで、山崎町安富町衛生施設一部事務組合<sup>1</sup>にて行われていた。その後のごみ収集は、安富町が直営で行い、平成18年3月の姫路市との合併後は姫路市において実施（直営・委託）している。

可燃ごみ及び不燃・粗大ごみの処理については、市町合併後も宍粟環境事務組合<sup>2</sup>に処理委託してきたが、平成25年4月より、にしはりまクリーンセンターにて処理を行っている。

令和2年3月31日をもって組合を脱退し、ごみ搬入先はくれさかクリーンセンターに変更となった。

#### 2) たつの市新宮地域

旧新宮町域の生活系ごみ収集は、平成17年10月の市町合併前は新宮町にて行われ、合併後は揖龍保健衛生施設事務組合<sup>3</sup>において実施してきた。

可燃ごみの処理については、施設の老朽化による施設廃止（平成12年3月）までは新宮町のごみ処理施設で処理を行っていたが、その後は揖龍保健衛生施設事務組合に処理委託してきた。また、その他の分別区分の処理については、新宮町で行ってきたが、市町合併後は、全ての分別区分の処理を揖龍保健衛生施設事務組合に処理委託してきた。平成25年4月以降は、にしはりまクリーンセンターにおいて処理を行っている。

#### 3) 宍粟市

宍粟市の生活系ごみ収集は、平成17年4月の市町合併前は、旧山崎町では、山崎町安富町衛生施設一部事務組合、旧一宮町と旧波賀町では、一宮・波賀衛生施設等一部事務組合<sup>4</sup>、旧千種町では町直営により行っていたが、合併後は、委託業者（一部市直営）により行っている。

ごみ処理については、市町合併後も宍粟環境事務組合で処理を行ってきたが、平成25年4月以降は、にしはりまクリーンセンターにおいて処理を行っている。

#### 4) 上郡町

上郡町の生活系ごみ収集は、従来、町直営で行ってきたが平成26年4月より委託業者にその業務を委託することとなる。

可燃ごみについては、上郡町クリーンセンター（ごみ焼却施設）において処理し、不燃、粗大、資源ごみについては、上郡町環境センターにおいて処理を行ってきたが、平成25年4月以降は、にしはりまクリーンセンターにおいて処理を行っている。

#### 5) 佐用町

佐用町の生活系ごみ収集は、平成17年10月の市町合併前は、佐用郡広域行政事務組合<sup>5</sup>により

実施していたが、合併後は、その業務を佐用町に移管している。

ごみ処理についても、合併後、佐用郡広域行政事務組合から佐用町へ移管された佐用クリーンセンターで処理を行ってきたが、平成25年4月以降は、にしはりまクリーンセンターにおいて処理を行っている。

## 2. 分別区分とごみ処理体制

本組合圏域の各自治体の現在の分別区分及びごみ処理体制を表 I-1～4に示す。また、各自治体の生活系ごみの分け方・出し方を資料Ⅸに示す。

表 I-1 たつの市新宮地域の分別区分及びごみ処理体制

排出源	分別区分	収集運搬	処 理	
生活系 収集ごみ	可燃ごみ	市(委託)	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	大型(粗大)ごみ			
	資源ごみ			
事業系ごみ 直接搬入ごみ	可燃ごみ	市の許可業者 直接搬入	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	大型(粗大)ごみ			
	資源ごみ			
直接搬入ごみ	埋立ごみ	直接搬入	たつの市	一般廃棄物最終処分場

表 I-2 宍粟市の分別区分及びごみ処理体制

排出源	分別区分	収集運搬	処 理	
生活系 収集ごみ	可燃ごみ	市(委託)	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	粗大ごみ			
	資源ごみ	市(直営・委託)		
	特殊ごみ	市(委託)		
事業系ごみ 直接搬入ごみ	可燃ごみ	市の許可業者 直接搬入	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	粗大ごみ			
	資源ごみ			

表 I -3 上郡町の分別区分及びごみ処理体制

排出源	分別区分	収集運搬	処 理	
生活系 収集ごみ	可燃ごみ	町(委託)	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	粗大ごみ			
	資源ごみ			
	特殊ごみ			
	埋立ごみ		上郡町	上郡町最終処分場
事業系ごみ 直接搬入ごみ	可燃ごみ	町の許可業者 直接搬入	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	粗大ごみ			
	資源ごみ			
	埋立ごみ	直接搬入	上郡町	上郡町最終処分場

表 I -4 佐用町の分別区分及びごみ処理体制

排出源	分別区分	収集運搬	処 理	
生活系 収集ごみ	可燃ごみ	町(直営)	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	粗大ごみ			
	資源ごみ			
	特殊ごみ			
	埋立ごみ			
事業系ごみ 直接搬入ごみ	可燃ごみ	町の許可業者 直接搬入	にしはりま 環境事務組合	にしはりま クリーンセンター
	不燃ごみ			
	粗大ごみ			
	資源ごみ			
	埋立ごみ	直接搬入	佐用町	第2一般廃棄物最終処分場

1 宍粟郡山崎町と安富町により昭和46年6月9日設立された一部事務組合。共同処理事務は、一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理計画策定、一般廃棄物（ごみ・し尿）の収集・運搬、一般廃棄物（し尿）処理施設の設置・管理及び運営、火葬場の設置・管理・運営等であった。平成17年3月31日、宍粟市誕生に伴い解散。

2 宍粟郡山崎町、安富町、一宮町、波賀町及び千種町の5町により昭和49年4月1日宍粟郡広域行政事務組合として設立された一部事務組合。共同処理事務は、宍粟郡広域センター設置・管理・運営に関する事務、ごみの中間処理・最終処分・施設の設置・管理、運営に関する事務、し尿・汚泥処理施設の設置・管理・運営に関する事務等であった。宍粟環境事務組合（平成17年4月改組）を経て、平成25年3月31日、にしはりまクリーンセンターの稼働開始に伴い解散。

3 龍野市、揖保郡揖保川町、同御津町、同太子町により昭和38年11月12日設立された一部事務組合。共同処理事務は、一般廃棄物処理計画の策定、一般廃棄物処理施設（地域し尿処理施設を除く）の設置及び維持管理、一般廃棄物の収集・運搬及び処分に関する事務等である。現在の構成団体は、たつの市と揖保郡太子町である。

4 宍粟郡一宮町と波賀町により昭和45年7月6日設立された一部事務組合。共同処理事務は、一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理計画策定、一般廃棄物（ごみ・し尿）の収集・運搬、火葬場の設置・管理・運営等であった。平成17年3月31日、宍粟市誕生に伴い解散。

5 佐用郡4町（佐用町、上月町、南光町、三日月町）により昭和53年8月1日設立された一部事務組合。共同処理事務は、佐用郡中央公民館の設置管理、消防に関する事務（消防団及び消防水利に関する事務を除く）、火葬場の設置・管理運営及び霊きゅう車による遺体の輸送、し尿処理施設及びごみ処理施設の設置及び管理並びに廃棄物及びし尿の収集運搬及び処理等であった。平成17年9月30日、佐用町誕生に伴い解散。

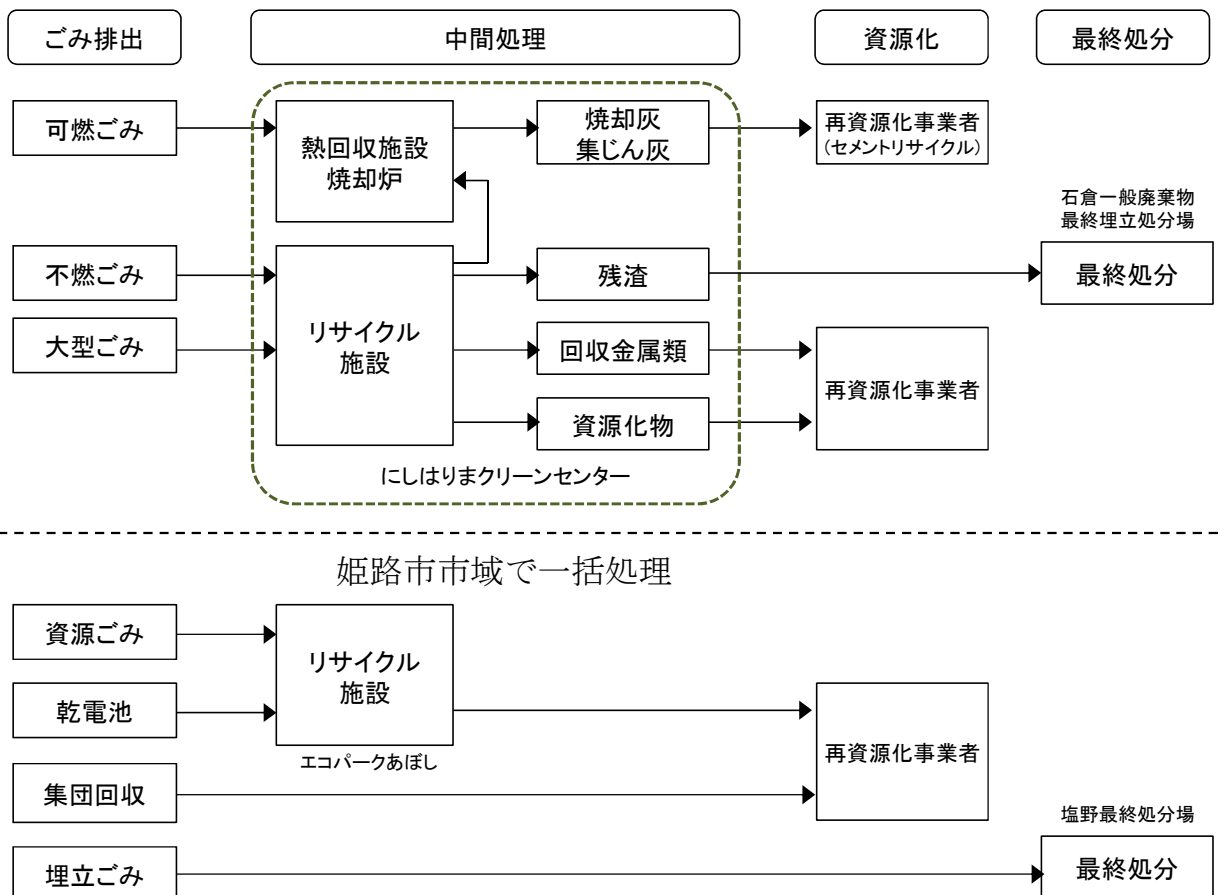
資料Ⅱ 組合圏域におけるごみ処理の流れ

組合圏域の各自治体におけるごみ処理の流れを以下に示す。また、それぞれ現行ごみ処理フローを図Ⅱ-1～5に示す。

1. 姫路市安富地域におけるごみ処理フロー

収集ごみのうち、可燃ごみ、不燃ごみ、大型ごみ(粗大ごみ)は、にしはりまクリーンセンターで処理を行っており、資源ごみ、乾電池は、エコパークあぼしにて処理を行っている。

事業系ごみ及び直接搬入するごみは、にしはりまクリーンセンターにおいて処理している。焼却残渣はセメント原料としてリサイクルされる。リサイクル施設で発生した不燃残渣は、石倉最終処分場で処分している。また、埋立ごみは、塩野最終処分場において直接搬入処分している。



図Ⅱ-1 姫路市安富地域における現行ごみ処理フロー



## 2. たつの市新宮地域におけるごみ処理フロー

収集ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、大型ごみ(粗大ごみ)、資源ごみ）は、にしはりまクリーンセンターで処理を行っている。焼却残渣はセメント原料としてリサイクルされる。リサイクル施設で発生した不燃残渣及び埋立ごみは、たつの市一般廃棄物最終処分場において直接搬入処分している。

資源化物については、指定法人及びその他業者が引取り再資源化を行っている。集団回収により、紙類、布類、アルミ缶を回収し再資源化している。

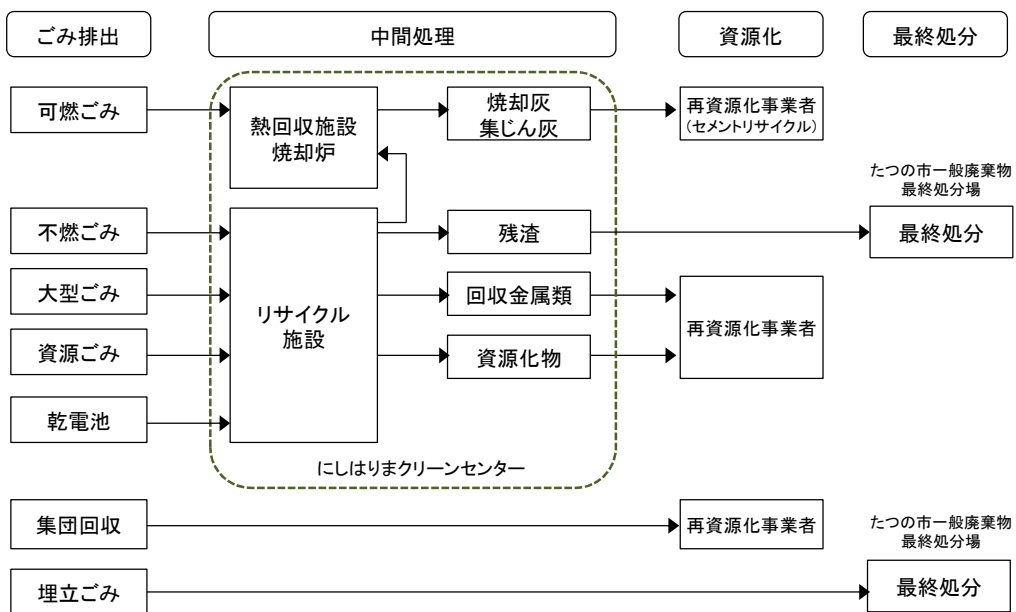


図 II-2 たつの市新宮地域における現行ごみ処理フロー

### 3. 宍粟市におけるごみ処理フロー

収集ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、特殊ごみ）は、にしはりまクリーンセンターで処理を行っている。焼却残渣はセメント原料としてリサイクルされる。リサイクル施設で発生した不燃残渣は、宍粟北残渣最終処分場で処分している。

資源化物については、指定法人及びその他業者が引取り再資源化を行っている。

集団回収により、紙類、布類、びん、アルミ・スチール缶を回収し再資源化している。

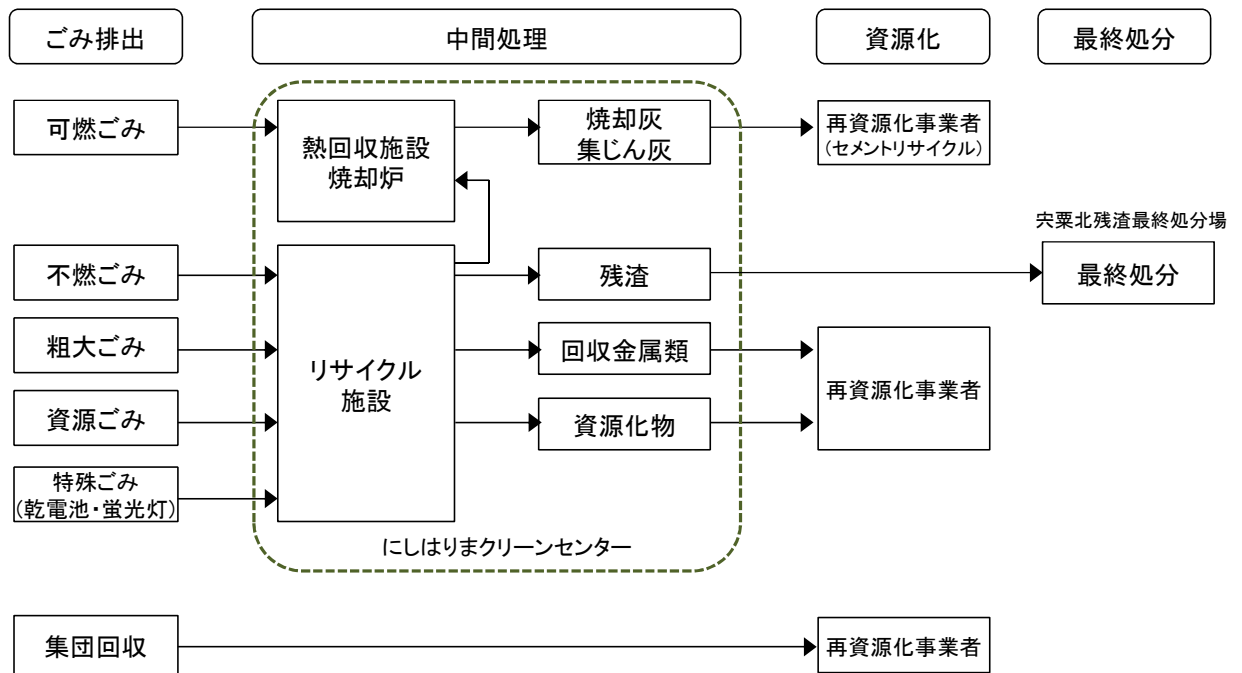


図 II-3 宍粟市における現行ごみ処理フロー

#### 4. 上郡町におけるごみ処理フロー

収集ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、特殊ごみ）は、にしはりまクリーンセンターで処理を行っている。焼却残渣はセメント原料としてリサイクルされる。リサイクル施設で発生した不燃残渣は、上郡町最終処分場で処分している。また、埋立ごみは、上郡町最終処分場において直接搬入処分されている。

資源化物については、指定法人及びその他業者が引取り再資源化を行っている。

集団回収により、紙類、布類、ビン類、アルミ缶、鉄類を回収し再資源化している。

※補足：集団回収による奨励金対象は紙類、布類だが、PTAによる集団回収はビン類、アルミ缶、鉄類も回収している。

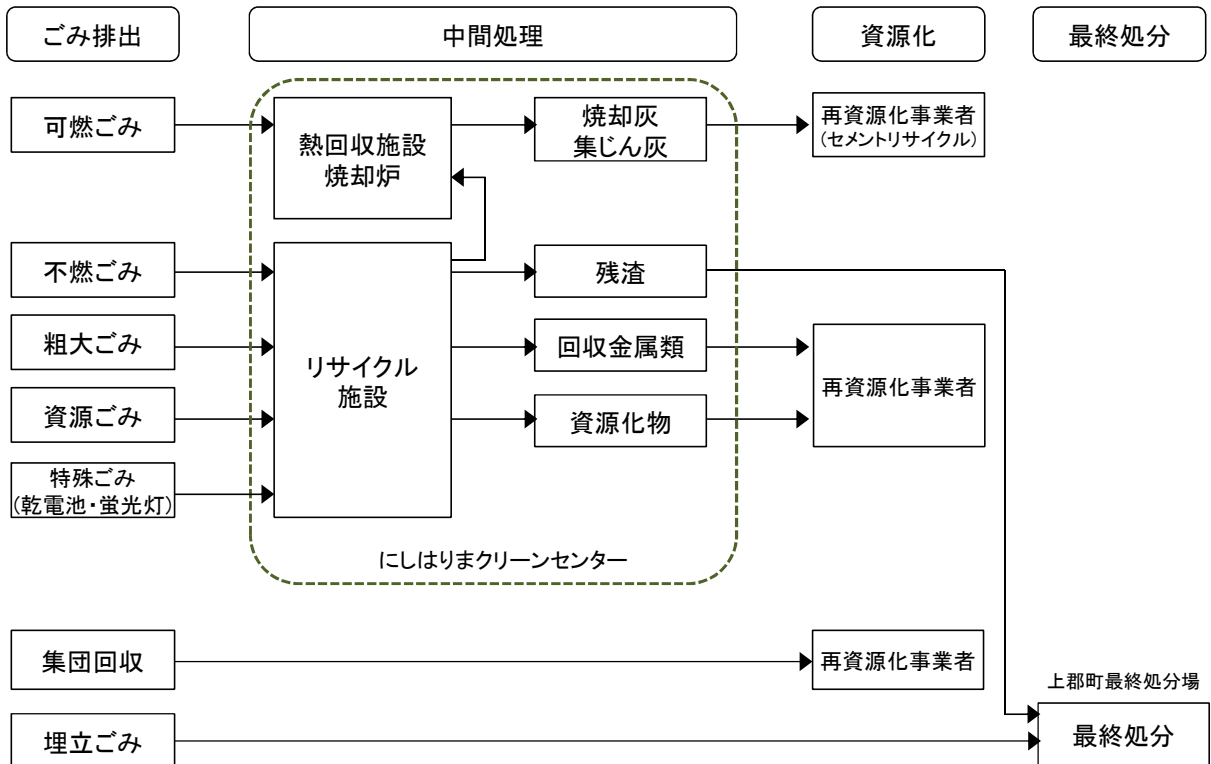


図 II-4 上郡町における現行ごみ処理フロー

## 5. 佐用町におけるごみ処理フロー

収集ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、特殊ごみ）は、にしはりまクリーンセンターで処理を行っている。焼却残渣はセメント原料としてリサイクルされる。リサイクル施設で発生した不燃残渣は、佐用町第2一般廃棄物最終処分場で処分している。また、埋立ごみは、佐用町第2一般廃棄物最終処分場において直接搬入処分されている。資源化物については、指定法人及びその他業者が引取り再資源化を行っている。集団回収により、紙類、布類、びん、アルミ缶を回収し再資源化している。

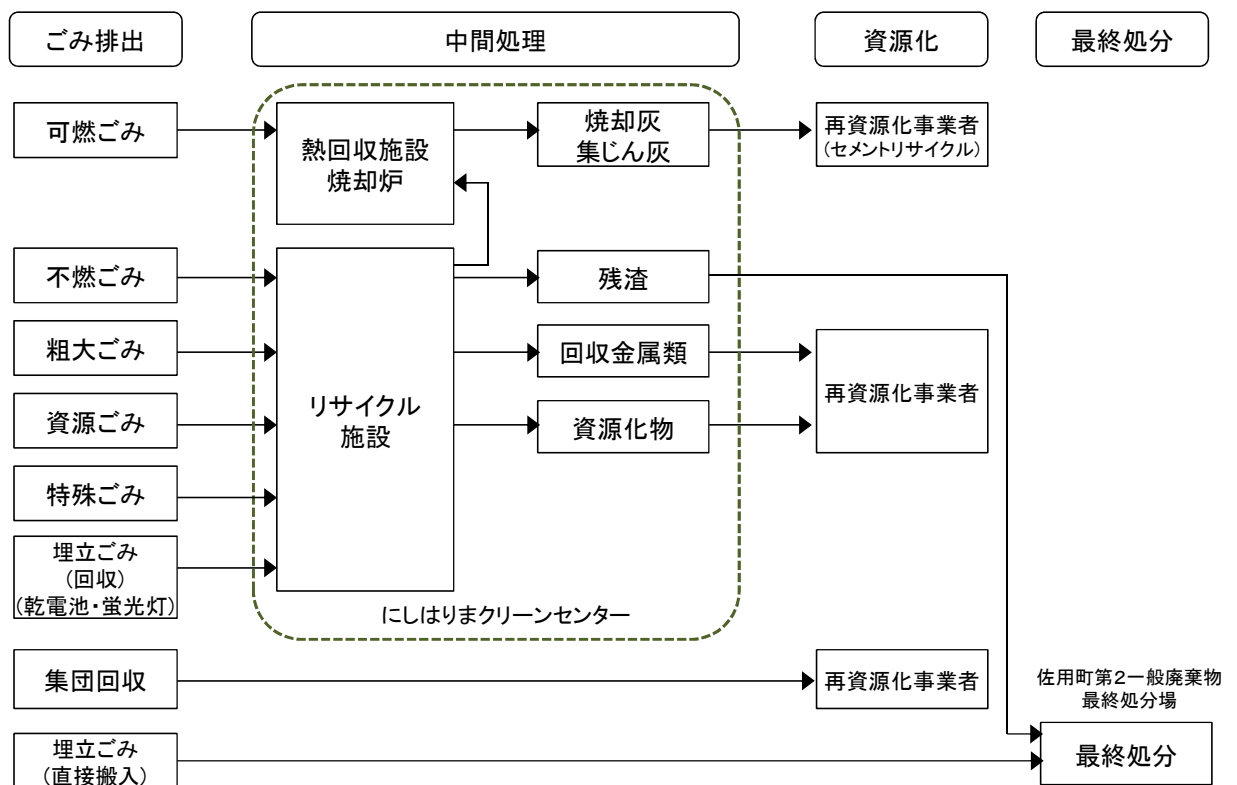


図 II-5 佐用町における現行ごみ処理フロー

### 資料Ⅲ 組合圏域におけるごみ処理の実績

#### 1. ごみ排出量の実績

組合圏域の各自治体における、平成25年度から平成31年度までのごみ排出量の推移を表Ⅲ-1～5及び図Ⅲ-1～5に示す。

##### ① 姫路市安富地域におけるごみ排出量の実績(参考)

姫路市安富地域の平成31年度の実績は、計画収集人口4,917人、ごみ総排出量1,077 t/年であり、1人1日当たりのごみ排出量(集団回収を除く)は598 g/人日で、兵庫県平均より少なくなっている。

##### ② たつの市新宮地域におけるごみ排出量の実績(参考)

たつの市新宮地域の平成31年度の実績は、計画収集人口13,698人、ごみ総排出量4,220 t/年であり、1人1日当たりのごみ排出量(集団回収を除く)は842 g/人日で、兵庫県平均より少なくなっている。

##### ③ 宍粟市におけるごみ排出量の実績(参考)

宍粟市の平成31年度の実績は、計画収集人口37,442人、ごみ総排出量10,975 t/年であり、1人1日当たりのごみ排出量(集団回収を除く)は801 g/人日で、兵庫県平均より少なくなっている。

##### ④ 上郡町におけるごみ排出量の実績(参考)

上郡町の平成31年度の実績は、計画収集人口14,835人、ごみ総排出量4,734 t/年であり、1人1日当たりのごみ排出量(集団回収を除く)は872 g/人日で、兵庫県平均より3g/人日高くなっている。

##### ⑤ 佐用町におけるごみ排出量の実績(参考)

佐用町の平成31年度の実績は、計画収集人口16,478人、ごみ総排出量5,393 t/年であり、1人1日当たりのごみ排出量(集団回収を除く)は894 g/人日で、兵庫県平均より25g/人日高くなっている。

兵庫県の一般廃棄物処理(兵庫県農政環境部環境管理局環境整備課)によると、総人口あたりのごみ総排出量から算定した、1人1日当たりの排出量(集団回収含む合計)順位は、平成21年度、平成22年において佐用町が最下位となっていた。

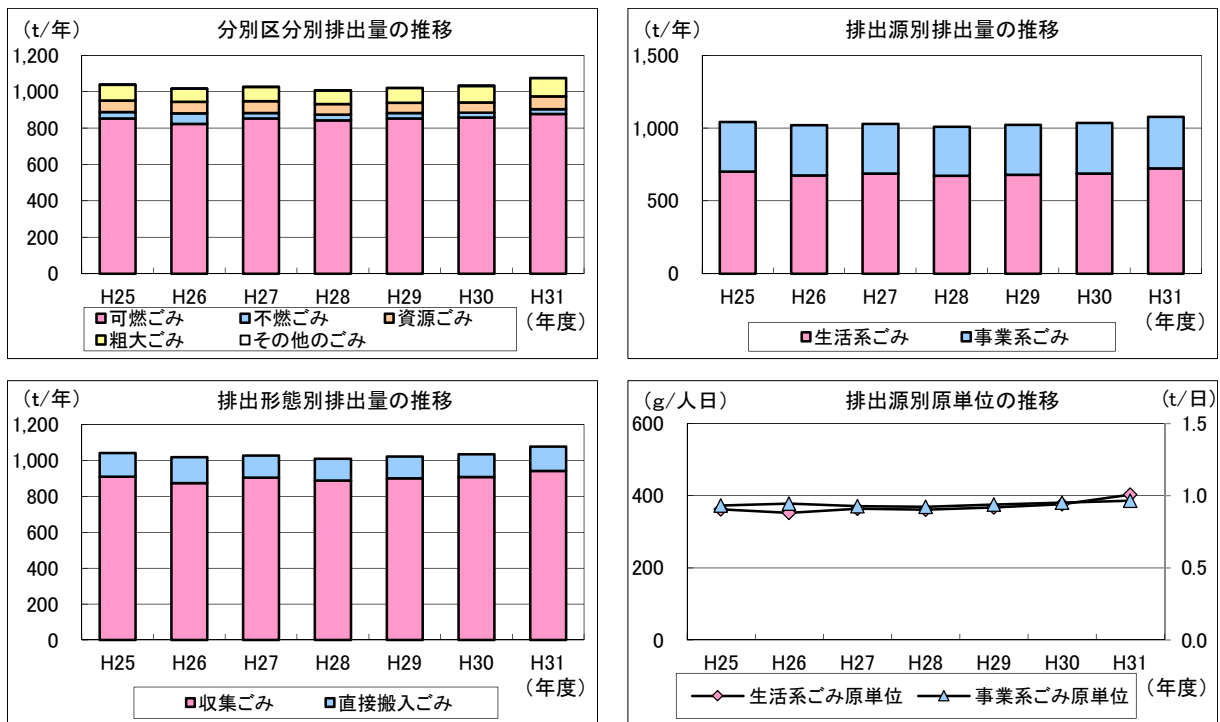
従来は分別収集が進んでいなかったが、近年では、にしはりまクリーンセンターの供用に合わせて、ごみ減量化への取り組みの一つとして、ごみ分別の周知に努めることで、県平均を下回る排出抑制となっている。

**【参考】**  
兵庫県の1人1日当たりの平均ごみ排出量869g/人日(平成31年度、集団回収を除く)

表Ⅲ-1 姫路市安富地域のごみ排出量の推移(参考)

姫路市安富地域	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画収集人口	人	5,311	5,246	5,172	5,102	5,067	5,009	4,917
収集ごみ	t/年	910	875	904	889	901	908	942
可燃ごみ		789	764	788	782	793	798	812
不燃ごみ		11	11	12	11	11	11	11
資源ごみ		63	63	64	58	58	56	71
粗大ごみ		47	37	40	38	40	43	46
その他のごみ		0	0	0	0	0	0	0
直接搬入ごみ	t/年	131	144	124	120	121	127	135
可燃ごみ		64	60	64	61	60	60	65
不燃ごみ		24	46	20	20	18	15	15
資源ごみ		0	0	0	0	0	0	0
粗大ごみ		39	36	38	36	41	48	54
その他のごみ		4	2	2	2	2	4	2
合計	t/年	1,041	1,019	1,028	1,009	1,022	1,035	1,077
可燃ごみ		853	824	852	843	853	857	877
不燃ごみ		35	57	31	31	29	27	26
資源ごみ		64	63	64	58	58	56	71
粗大ごみ		86	73	78	75	81	91	101
その他のごみ		4	2	2	2	2	4	2
集団回収	t/年	38	35	35	31	27	27	0
排出源別搬出量	t/年	1,041	1,019	1,028	1,009	1,022	1,035	1,077
生活系ごみ		701	674	689	672	680	688	724
事業系ごみ		340	345	339	337	342	347	353
排出源別原単位	g/人日	537	532	543	542	553	566	598
生活系ごみ	g/人日	362	352	364	361	367	376	402
事業系ごみ	t/日	1	1	1	1	1	1	1

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績) (環境省)  
 [備考] 姫路市安富地域の実績値は人口按分による計算値  
 ごみ排出原単位量及び生活系ごみ排出原単位量は集団回収を除いて算定した。  
 事業系ごみ排出原単位量はt/年で算定した。

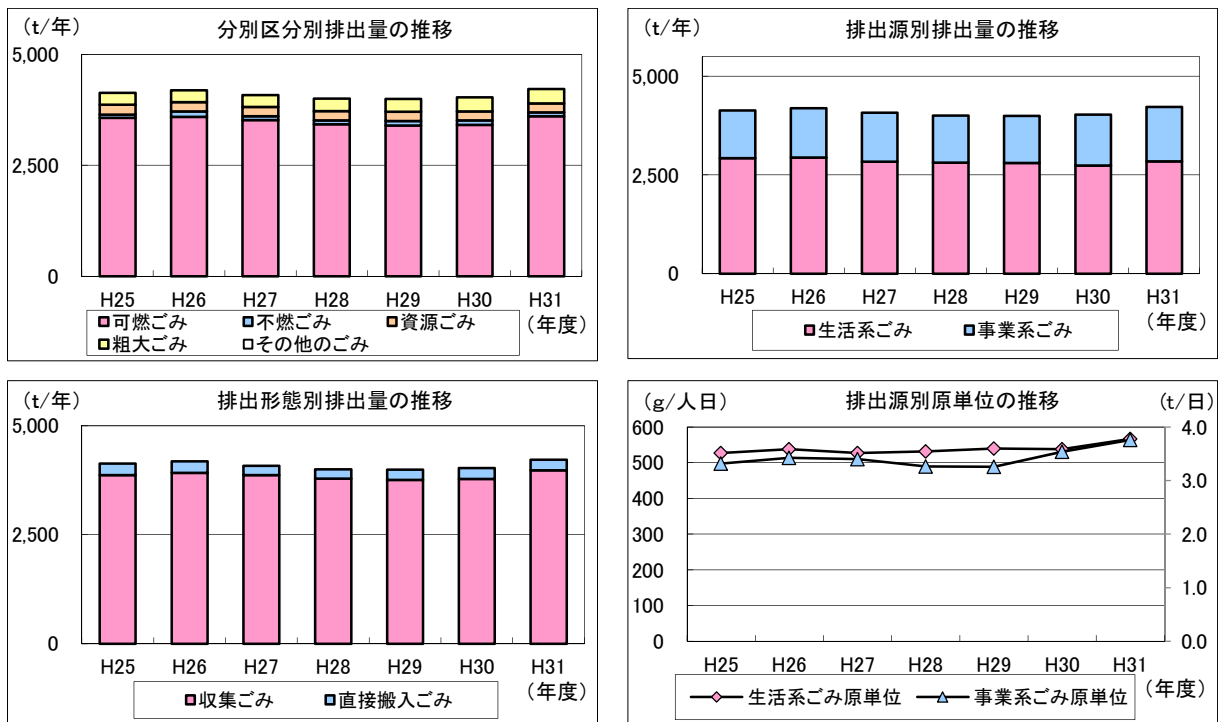


図Ⅲ-1 姫路市安富地域のごみ排出量の推移(参考)

表Ⅲ-2 たつの市新宮地域のごみ排出量の推移(参考)

たつの市新宮地域	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画収集人口	人	15,173	14,952	14,694	14,481	14,239	13,948	13,698
収集ごみ	t/年	3,867	3,919	3,867	3,790	3,762	3,783	3,981
可燃ごみ		3,456	3,506	3,462	3,373	3,339	3,352	3,523
不燃ごみ		5	10	10	10	13	14	19
資源ごみ		206	201	195	196	194	186	194
粗大ごみ		200	202	200	210	217	231	245
その他のごみ		0	0	0	0	0	0	0
直接搬入ごみ	t/年	266	270	214	212	232	249	239
可燃ごみ		112	83	57	50	56	62	81
不燃ごみ		72	112	81	80	91	85	68
資源ごみ		17	11	13	10	15	12	11
粗大ごみ		65	64	63	72	70	89	79
その他のごみ		0	0	0	0	0	0	0
合計	t/年	4,133	4,188	4,081	4,002	3,994	4,032	4,220
可燃ごみ		3,568	3,589	3,519	3,423	3,395	3,414	3,604
不燃ごみ		77	122	90	90	104	100	87
資源ごみ		223	212	208	207	209	198	205
粗大ごみ		265	266	263	282	286	320	324
その他のごみ		0	0	0	0	0	0	0
集団回収	t/年	369	372	335	361	305	277	244
排出源別搬出量	t/年	4,133	4,188	4,081	4,002	3,994	4,032	4,220
生活系ごみ		2,921	2,938	2,836	2,810	2,804	2,740	2,843
事業系ごみ		1,212	1,250	1,245	1,192	1,190	1,292	1,377
排出源別原単位	g/人日	746	767	759	757	769	792	842
生活系ごみ	g/人日	527	538	527	532	540	538	567
事業系ごみ	t/日	3	3	3	3	3	4	4

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25～31年度実績) (環境省)  
 [備考] たつの市新宮地域の実績値は人口按分による計算値  
 ごみ排出原単位量及び生活系ごみ排出原単位量は集団回収を除いて算定した。  
 事業系ごみ排出原単位量はg/日で算定した。

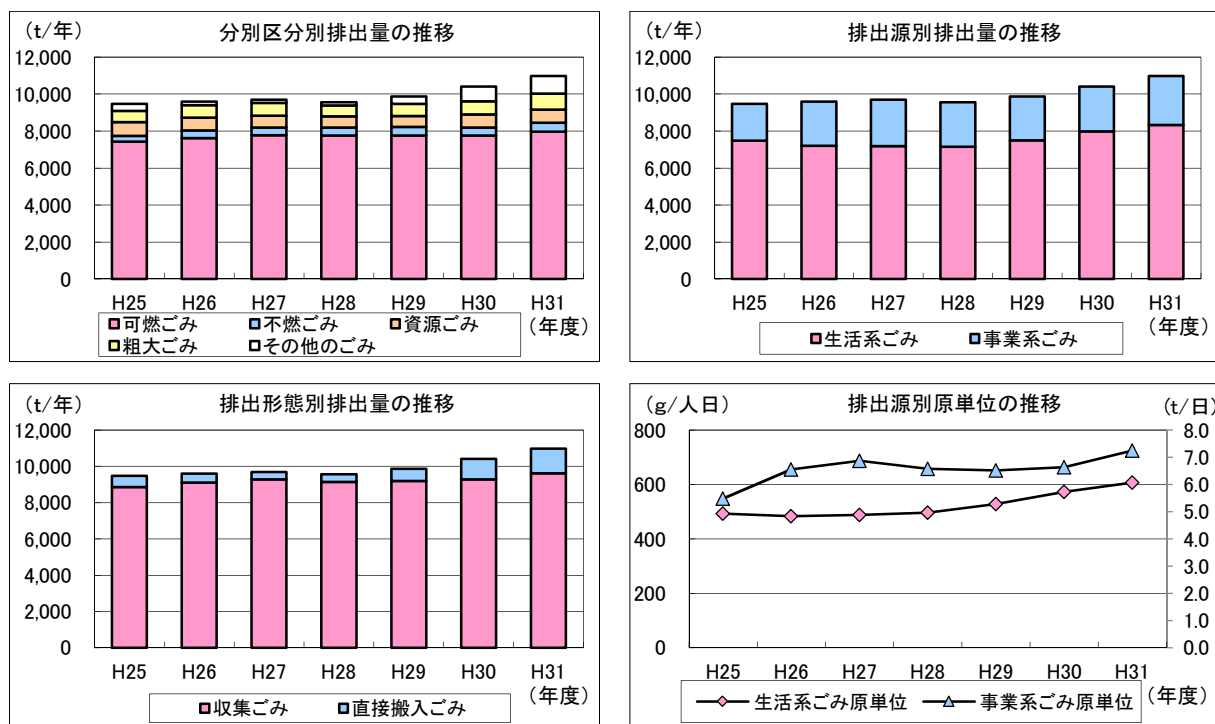


図Ⅲ-2 たつの市新宮地域のごみ排出量の推移(参考)

表Ⅲ-3 宍粟市のごみ排出量の推移(参考)

宍粟市	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画収集人口	人	41,556	40,856	40,213	39,470	38,827	38,138	37,442
収集ごみ	t/年	8,868	9,109	9,284	9,139	9,200	9,285	9,621
可燃ごみ		7,313	7,449	7,648	7,637	7,626	7,606	7,768
不燃ごみ		301	398	408	431	473	416	462
資源ごみ		734	672	628	591	576	701	701
粗大ごみ		512	576	589	470	514	551	676
その他のごみ		8	14	11	10	11	11	14
直接搬入ごみ	t/年	607	486	414	419	670	1,123	1,354
可燃ごみ		117	176	122	121	123	159	197
不燃ごみ		11	14	8	8	7	16	17
資源ごみ		13	9	10	10	7	6	6
粗大ごみ		85	101	108	111	139	162	194
その他のごみ		381	186	166	169	394	780	940
合計	t/年	9,475	9,595	9,698	9,558	9,870	10,408	10,975
可燃ごみ		7,430	7,625	7,770	7,758	7,749	7,765	7,965
不燃ごみ		312	412	416	439	480	432	479
資源ごみ		747	681	638	601	583	707	707
粗大ごみ		597	677	697	581	653	713	870
その他のごみ		389	200	177	179	405	791	954
集団回収	t/年	1,185	1,053	993	900	860	751	610
排出源別搬出量	t/年	9,475	9,595	9,698	9,558	9,870	10,408	10,975
生活系ごみ		7,473	7,205	7,182	7,158	7,491	7,984	8,323
事業系ごみ		2,002	2,390	2,516	2,400	2,379	2,424	2,652
排出源別原単位	g/人日	625	643	659	663	696	748	801
生活系ごみ	g/人日	493	483	488	497	529	574	607
事業系ごみ	t/日	5	7	7	7	7	7	7

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績) (環境省)  
 [備考] ごみ排出原単位量及び生活系ごみ排出原単位量は集団回収を除いて算定した。  
 事業系ごみ排出原単位量はg/日で算定した。



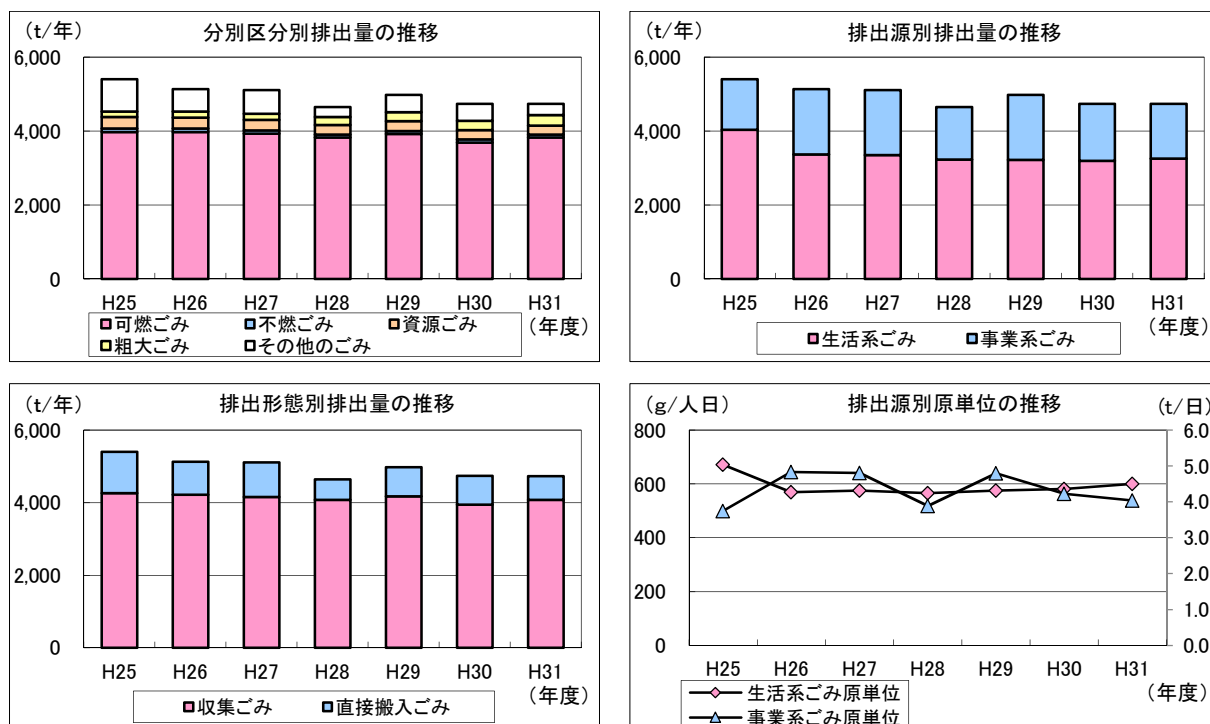
図Ⅲ-3 宍粟市のごみ排出量の推移(参考)



表Ⅲ-4 上郡町のごみ排出量の推移(参考)

上郡町	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画収集人口	人	16,462	16,200	15,914	15,643	15,351	15,062	14,835
収集ごみ	t/年	4,266	4,216	4,158	4,076	4,179	3,941	4,075
可燃ごみ		3,815	3,781	3,749	3,645	3,743	3,511	3,612
不燃ごみ		84	73	68	67	68	66	66
資源ごみ		294	279	260	244	250	238	230
粗大ごみ		51	64	57	97	96	104	141
その他のごみ		22	19	24	23	22	22	26
直接搬入ごみ	t/年	1,135	914	948	569	795	794	659
可燃ごみ		160	193	186	178	178	179	212
不燃ごみ		11	18	15	12	13	15	14
資源ごみ		15	18	24	17	18	17	17
粗大ごみ		96	102	109	118	147	148	142
その他のごみ		853	583	614	244	439	435	274
合計	t/年	5,401	5,130	5,106	4,645	4,974	4,735	4,734
可燃ごみ		3,975	3,974	3,935	3,823	3,921	3,690	3,824
不燃ごみ		95	91	83	79	81	81	80
資源ごみ		309	297	284	261	268	255	247
粗大ごみ		147	166	166	215	243	252	283
その他のごみ		875	602	638	267	461	457	300
集団回収	t/年	387	324	337	336	303	277	179
排出源別搬出量	t/年	5,401	5,130	5,106	4,645	4,974	4,735	4,734
生活系ごみ		4,036	3,368	3,348	3,227	3,222	3,193	3,257
事業系ごみ		1,365	1,762	1,758	1,418	1,752	1,542	1,477
排出源別原単位	g/人日	899	868	877	814	888	861	872
生活系ごみ	g/人日	672	570	575	565	575	581	600
事業系ごみ	t/日	4	5	5	4	5	4	4

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績)(環境省)  
 [備考] ごみ排出原単位量及び生活系ごみ排出原単位量は集団回収を除いて算定した。  
 事業系ごみ排出原単位量はg/日で算定した。

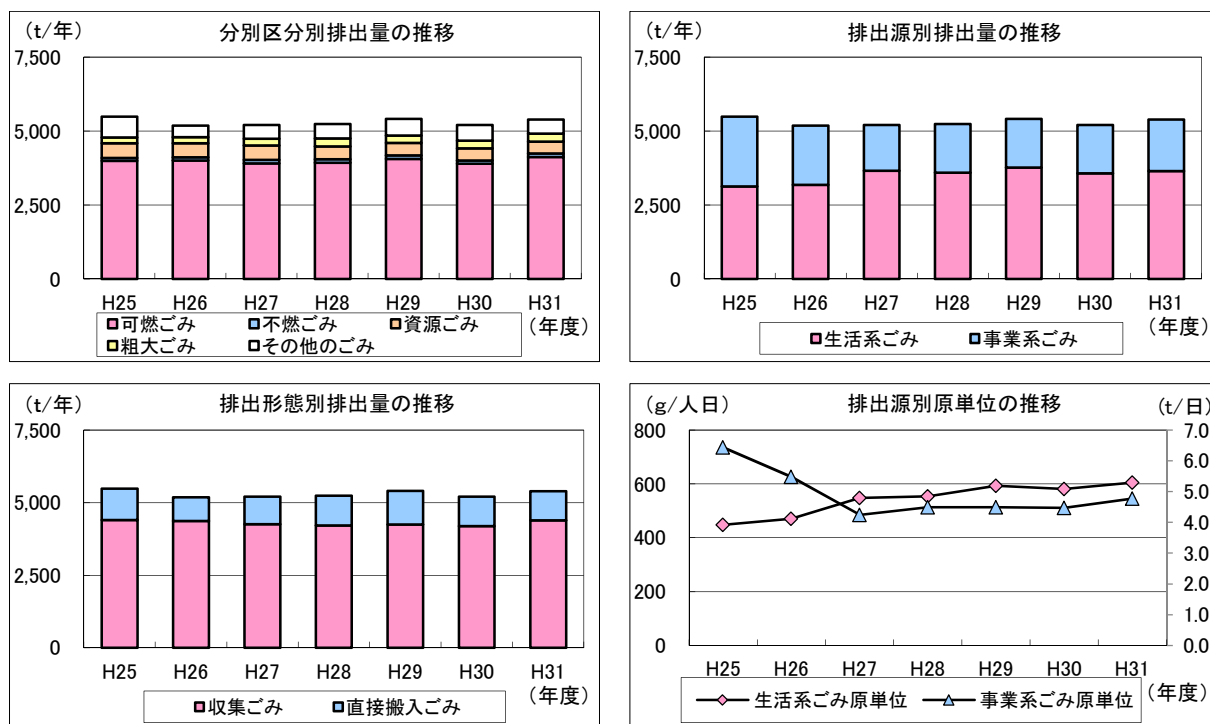


図Ⅲ-4 上郡町のごみ排出量の推移(参考)

表Ⅲ-5 佐用町のごみ排出量の推移(参考)

佐用町	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画収集人口	人	19,174	18,574	18,245	17,785	17,417	16,848	16,478
収集ごみ	t/年	4,400	4,367	4,260	4,217	4,251	4,194	4,388
可燃ごみ		3,763	3,737	3,643	3,646	3,683	3,629	3,798
不燃ごみ		79	88	91	93	97	91	107
資源ごみ		462	449	453	416	405	392	392
粗大ごみ		86	85	65	52	59	75	84
その他のごみ		10	8	8	10	7	7	7
直接搬入ごみ	t/年	1,084	822	947	1,021	1,157	1,013	1,005
可燃ごみ		234	265	269	284	378	271	322
不燃ごみ		15	21	22	20	22	18	16
資源ごみ		34	32	34	24	10	10	10
粗大ごみ		115	122	161	211	199	194	185
その他のごみ		686	382	461	482	548	520	472
合計	t/年	5,484	5,189	5,207	5,238	5,408	5,207	5,393
可燃ごみ		3,997	4,002	3,912	3,930	4,061	3,900	4,120
不燃ごみ		94	109	113	113	119	109	123
資源ごみ		496	481	487	440	415	402	402
粗大ごみ		201	207	226	263	258	269	269
その他のごみ		696	390	469	492	555	527	479
集団回収	t/年	443	392	353	335	310	297	229
排出源別搬出量	t/年	5,484	5,189	5,207	5,238	5,408	5,207	5,393
生活系ごみ		3,134	3,188	3,656	3,597	3,770	3,575	3,647
事業系ごみ		2,350	2,001	1,551	1,641	1,638	1,632	1,746
排出源別原単位	g/人日	784	765	780	807	851	847	894
生活系ごみ	g/人日	448	470	547	554	593	581	605
事業系ごみ	t/日	6	5	4	4	4	4	5

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25～31年度実績) (環境省)  
 [備考] ごみ排出原単位量及び生活系ごみ排出原単位量は集団回収を除いて算定した。  
 事業系ごみ排出原単位量はg/日で算定した。



図Ⅲ-5 佐用町のごみ排出量の推移(参考)

## 2. ごみ処理量の実績

組合圏域の各自治体における、平成25年度から平成31年度までのごみ処理量の推移を表Ⅲ-6～10及び図Ⅲ-6～10に示す。

### ① 姫路市安富地域におけるごみ処理実績(参考)

姫路市安富地域の実績値は、姫路市の実績値から按分によって算定した。

平成31年度の実績は、処理量合計が1,077 t、資源化量合計が164 t、最終処分量が96 tであった。

### ② たつの市新宮地域におけるごみ処理実績(参考)

たつの市新宮地域の実績値は、たつの市の実績値から按分によって算定した。

平成31年度の実績は、処理量合計が4,227 t、資源化量合計が961 t、最終処分量が67 tであった。

### ③ 宍粟市におけるごみ処理実績(参考)

宍粟市の平成31年度の実績は、処理量合計が10,975 t、資源化量合計が2,604 t、最終処分量が1,110 tであった。

### ④ 上郡町におけるごみ処理実績(参考)

上郡町の平成31年度の実績は、処理量合計が4,709 t、資源化量合計が1,008 t、最終処分量が379 tであった。

### ⑥ 佐用町におけるごみ処理実績(参考)

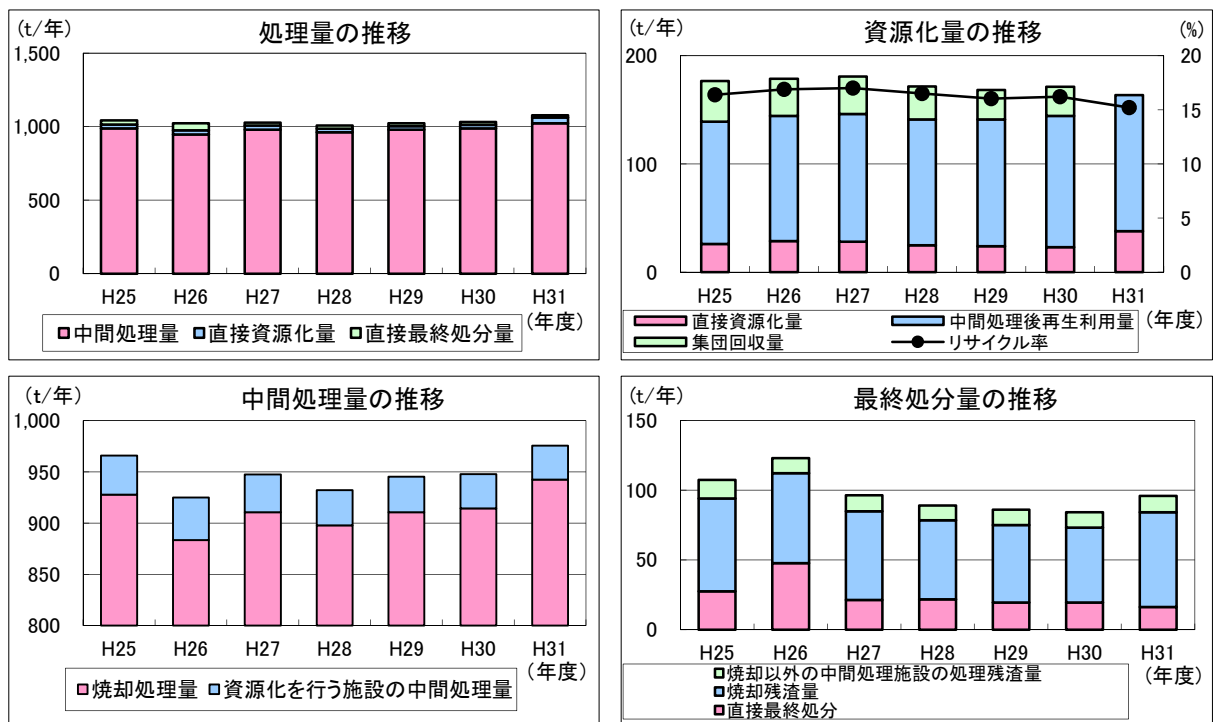
佐用町の平成31年度の実績は、処理量合計が5,393 t、資源化量合計が1,302 t、最終処分量が518 tであった。

表Ⅲ-6 姫路市安富地域のごみ処理量の推移(参考)

		単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
処理量	処理量合計	t/年	1,041	1,023	1,027	1,008	1,022	1,031	1,077
	直接資源化量		26	29	28	25	24	23	38
	直接最終処分量		27	48	21	22	19	19	16
	中間処理量		988	947	978	961	979	988	1,023
	中間処理後再生利用量		113	116	118	116	117	121	126
	中間処理後最終処分量		71	67	66	59	59	57	71
焼却施設	焼却処理量	t/年	928	884	911	898	911	914	942
	直接焼却量		887	847	882	871	882	885	909
	中間処理施設からの搬入量(粗大ごみ処理施設)		31	24	22	22	23	25	28
	中間処理施設からの搬入量(資源化を行う施設)		10	13	6	6	6	4	4
	再生利用量		68	64	62	64	63	60	59
	最終処分量(焼却灰)		67	64	64	57	55	54	68
焼却以外の中間処理施設	焼却以外の中間処理量	t/年	101	100	96	90	96	103	113
	粗大ごみ処理施設の中間処理量		39	29	28	27	29	32	36
	資源化を行う施設の中間処理量		38	41	37	34	34	33	33
	ごみ堆肥化施設の中間処理量		14	20	22	21	24	30	35
	その他の施設の中間処理量		9	9	9	8	8	8	9
	再生利用量		45	52	56	52	54	61	66
	粗大ごみ処理施設		4	3	3	3	4	4	4
	資源化を行う施設		29	29	30	29	29	29	29
	ごみ堆肥化施設		13	20	22	21	22	28	33
	最終処分量(処理残渣)		4	2	3	3	3	3	3
	粗大ごみ処理施設		4	2	3	3	3	3	3
	資源化を行う施設		0	0	0	0	0	0	0
資源化	資源化量合計	t/年	177	179	181	171	168	171	164
	直接資源化量	t/年	26	29	28	25	24	23	38
	中間処理後再生利用量	t/年	113	116	118	116	117	121	126
	集団回収量	%	38	35	35	31	27	27	0
	リサイクル率	%	16.4	16.9	17.0	16.5	16.0	16.2	15.2
最終処分	最終処分量	t/年	107	123	96	89	86	84	96
	直接最終処分		27	48	21	22	19	19	16
	焼却残渣量		67	64	64	57	55	54	68
	焼却以外の中間処理施設の処理残渣量		13	11	11	11	11	11	12

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績)(環境省)

[備考] 姫路市安富地域の実績値は人口按分による計算値

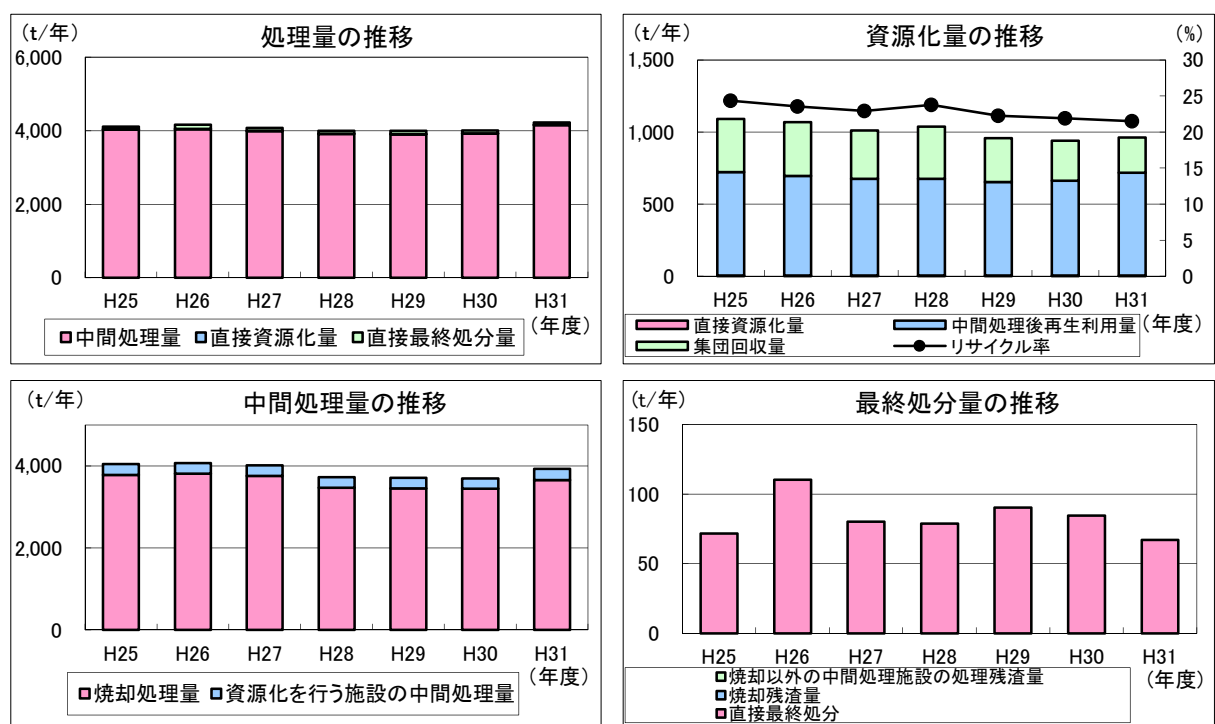


図Ⅲ-6 姫路市安富町域のごみ処理量の推移(参考)

表Ⅲ-7 たつの市新宮地域のごみ処理量の推移(参考)

		単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
処理量	処理量合計	t/年	4,112	4,163	4,077	4,000	4,001	4,012	4,227
	直接資源化量		5	5	5	5	5	4	5
	直接最終処分量		72	110	80	79	90	85	67
	中間処理量		4,035	4,047	3,992	3,916	3,906	3,923	4,155
	中間処理後再生利用量		717	690	672	672	649	659	712
	中間処理後最終処分量		0	0	0	0	0	0	0
焼却施設	焼却処理量	t/年	3,781	3,808	3,758	3,467	3,451	3,442	3,659
	直接焼却量		3,558	3,572	3,525	3,431	3,417	3,407	3,620
	中間処理施設からの搬入量(粗大ごみ処理施設)		189	206	201	0	0	0	0
	中間処理施設からの搬入量(資源化を行う施設)		35	31	32	35	34	35	38
	再生利用量		510	483	469	475	458	470	515
	最終処分量(焼却灰)		0	0	0	0	0	0	0
焼却以外の中間処理施設	焼却以外の中間処理量	t/年	477	476	467	485	489	516	535
	粗大ごみ処理施設の中間処理量		212	215	213	226	227	262	265
	資源化を行う施設の中間処理量		265	261	254	259	262	254	270
	ごみ堆肥化施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	その他の施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	再生利用量		208	207	203	196	191	189	197
	粗大ごみ処理施設		9	7	8	10	10	11	8
	資源化を行う施設		198	200	194	186	181	177	189
	ごみ堆肥化施設		0	0	0	0	0	0	0
	最終処分量(処理残渣)		0	0	0	0	0	0	0
	粗大ごみ処理施設		0	0	0	0	0	0	0
	資源化を行う施設		0	0	0	0	0	0	0
資源化	資源化量合計	t/年	1,091	1,068	1,012	1,037	958	940	961
	直接資源化量	t/年	5	5	5	5	5	4	5
	中間処理後再生利用量	t/年	717	690	672	672	649	659	712
	集団回収量	%	369	372	335	361	305	277	244
	リサイクル率	%	24.4	23.5	22.9	23.8	22.3	21.9	21.5
最終処分	最終処分量	t/年	72	110	80	79	90	85	67
	直接最終処分		72	110	80	79	90	85	67
	焼却残渣量		0	0	0	0	0	0	0
	焼却以外の中間処理施設の処理残渣量		0	0	0	0	0	0	0

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績)(環境省)  
 [備考] たつの市新宮地域の実績値は人口按分による計算値

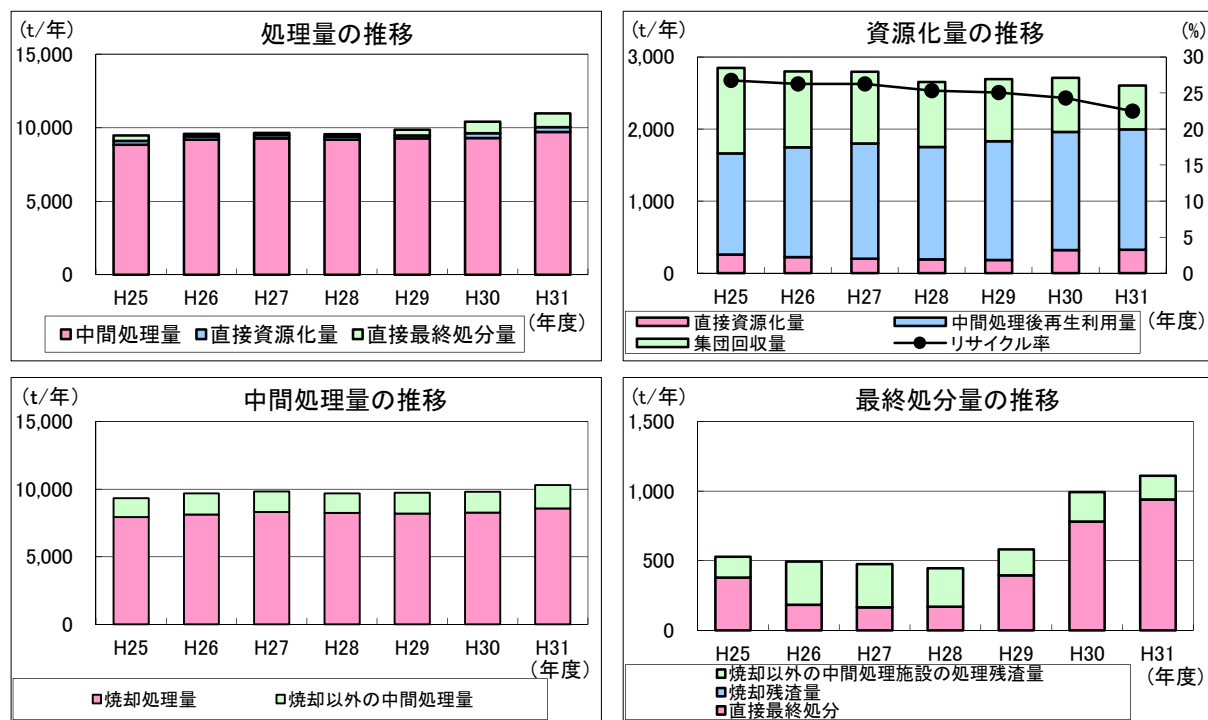


図Ⅲ-7 たつの市新宮町域のごみ処理量の推移(参考)

表Ⅲ-8 宍粟市のごみ処理量の推移(参考)

		単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
処理量	処理量合計	t/年	9,475	9,595	9,659	9,558	9,870	10,408	10,975
	直接資源化量		259	224	202	192	185	321	324
	直接最終処分量		379	184	166	169	394	780	940
	中間処理量		8,837	9,187	9,291	9,197	9,291	9,307	9,711
	中間処理後再生利用量		1,405	1,520	1,599	1,558	1,645	1,639	1,670
	中間処理後最終処分量		149	310	310	277	186	212	170
焼却施設	焼却処理量	t/年	7,918	8,112	8,300	8,239	8,200	8,256	8,565
	直接焼却量		7,430	7,625	7,770	7,758	7,749	7,765	7,965
	中間処理施設からの搬入量(粗大ごみ処理施設)		0	0	0	0	0	0	0
	中間処理施設からの搬入量(資源化を行う施設)		488	487	530	481	451	491	600
	再生利用量		1,005	988	1,044	986	1,076	1,043	1,087
	最終処分量(焼却灰)		0	0	0	0	0	0	0
焼却以外の中間処理施設	焼却以外の中間処理量	t/年	1,407	1,562	1,521	1,439	1,542	1,542	1,746
	粗大ごみ処理施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	資源化を行う施設の中間処理量		1,407	1,562	1,521	1,439	1,542	1,542	1,746
	ごみ堆肥化施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	その他の施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	再生利用量		400	532	555	572	569	596	583
	粗大ごみ処理施設		7	5	5	5	6	6	7
	資源化を行う施設		393	527	550	567	563	590	576
	ごみ堆肥化施設		0	0	0	0	0	0	0
	最終処分量(処理残渣)		149	310	310	277	186	212	170
	粗大ごみ処理施設		0	0	0	0	0	0	0
	資源化を行う施設		149	310	310	277	186	212	170
資源化	資源化量合計	t/年	2,849	2,797	2,794	2,650	2,690	2,711	2,604
	直接資源化量	t/年	259	224	202	192	185	321	324
	中間処理後再生利用量	t/年	1,405	1,520	1,599	1,558	1,645	1,639	1,670
	集団回収量	%	1,185	1,053	993	900	860	751	610
	リサイクル率	%	26.7	26.3	26.2	25.3	25.1	24.3	22.5
最終処分	最終処分量	t/年	528	494	476	446	580	992	1,110
	直接最終処分		379	184	166	169	394	780	940
	焼却残渣量		0	0	0	0	0	0	0
	焼却以外の中間処理施設の処理残渣量		149	310	310	277	186	212	170

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績) (環境省)

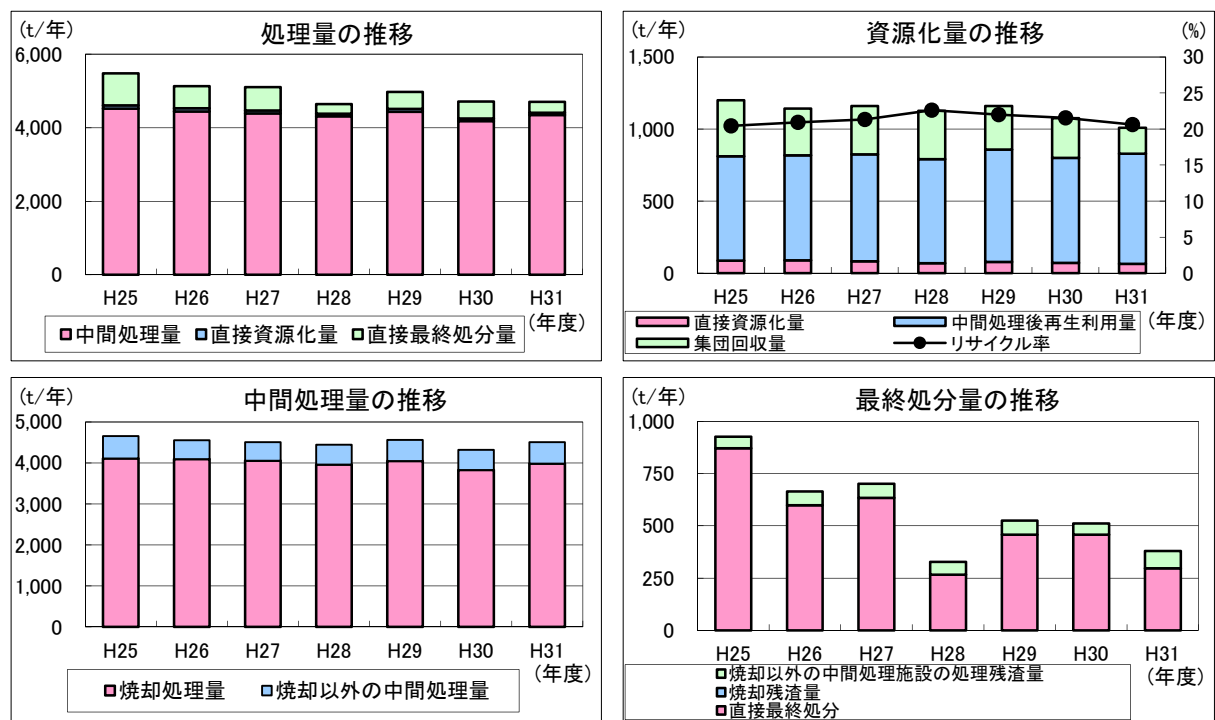


図Ⅲ-8 宍粟市のごみ処理量の推移(参考)

表Ⅲ-9 上郡町のごみ処理量の推移(参考)

		単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
処理量	処理量合計	t/年	5,484	5,130	5,106	4,647	4,974	4,713	4,709
	直接資源化量		87	90	82	69	79	71	66
	直接最終処分量		871	599	634	266	458	458	297
	中間処理量		4,526	4,441	4,390	4,312	4,437	4,184	4,346
	中間処理後再生利用量		725	728	741	721	778	728	763
	中間処理後最終処分量		56	65	68	62	68	53	82
焼却施設	焼却処理量	t/年	4,104	4,089	4,053	3,958	4,048	3,827	3,985
	直接焼却量		3,975	3,974	3,935	3,823	3,921	3,690	3,824
	中間処理施設からの搬入量(粗大ごみ処理施設)		0	0	0	0	0	0	0
	中間処理施設からの搬入量(資源化を行う施設)		129	115	118	135	127	137	161
	再生利用量		537	515	528	486	545	494	522
最終処分量(焼却灰)	0	0	0	0	0	0	0		
焼却以外の中間処理施設	焼却以外の中間処理量	t/年	551	467	455	489	516	494	522
	粗大ごみ処理施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	資源化を行う施設の中間処理量		551	467	455	489	516	494	522
	ごみ堆肥化施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	その他の施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	再生利用量		188	213	213	235	233	234	241
	粗大ごみ処理施設		7	5	5	5	6	6	7
	資源化を行う施設		181	208	208	230	227	228	234
	ごみ堆肥化施設		0	0	0	0	0	0	0
	最終処分量(処理残渣)		56	65	68	62	68	53	82
粗大ごみ処理施設	0	0	0	0	0	0	0		
資源化を行う施設	56	65	68	62	68	53	82		
資源化	資源化量合計	t/年	1,199	1,142	1,160	1,126	1,160	1,076	1,008
	直接資源化量	t/年	87	90	82	69	79	71	66
	中間処理後再生利用量	t/年	725	728	741	721	778	728	763
	集団回収量	t/年	387	324	337	336	303	277	179
	リサイクル率	%	20.4	20.9	21.3	22.6	22.0	21.6	20.6
最終処分	最終処分量	t/年	927	664	702	328	526	511	379
	直接最終処分		871	599	634	266	458	458	297
	焼却残渣量		0	0	0	0	0	0	0
	焼却以外の中間処理施設の処理残渣量		56	65	68	62	68	53	82

[出典] 「ごみ処理の概要」(平成25~31年度実績) (環境省)

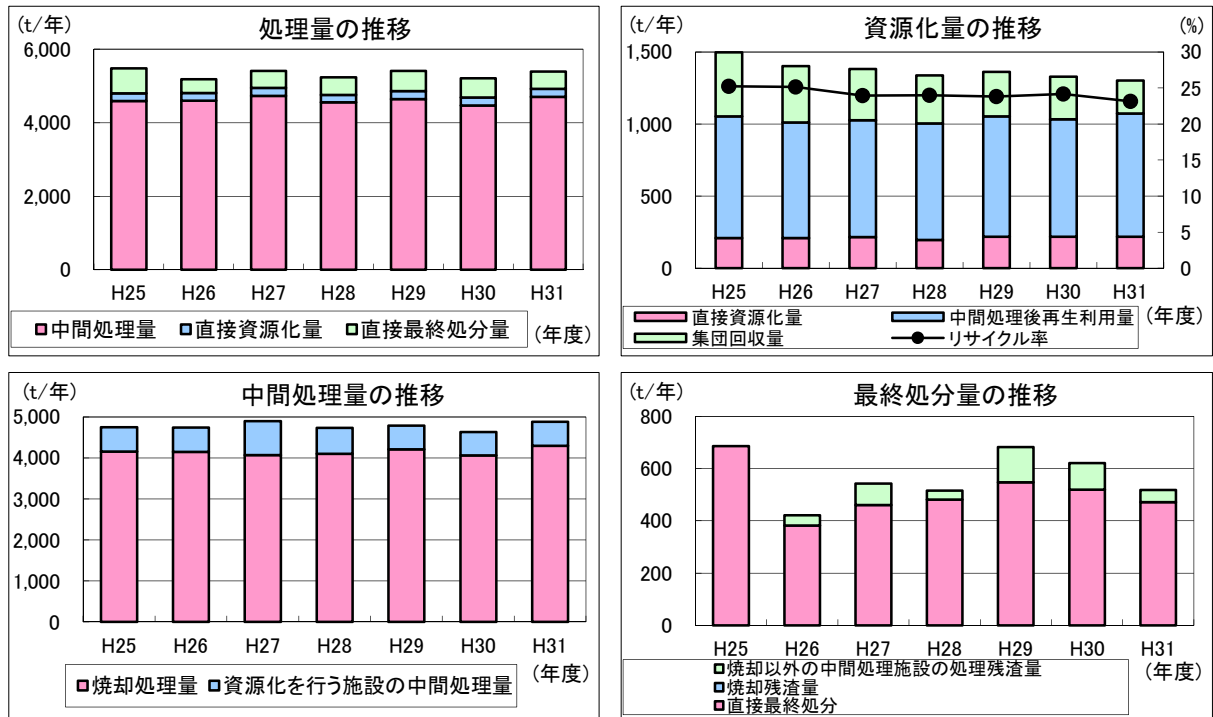


図Ⅲ-9 上郡町のごみ処理量の推移(参考)

表Ⅲ-10 佐用町のごみ処理量の推移(参考)

		単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
処理量	処理量合計	t/年	5,484	5,189	5,410	5,238	5,408	5,207	5,393
	直接資源化量		209	209	217	197	218	219	218
	直接最終処分量		686	382	461	482	548	520	472
	中間処理量		4,589	4,598	4,732	4,559	4,642	4,468	4,703
	中間処理後再生利用量		844	801	810	806	834	813	855
	中間処理後最終処分量		0	39	82	34	134	101	46
焼却施設	焼却処理量	t/年	4,155	4,143	4,072	4,103	4,206	4,063	4,297
	直接焼却量		3,997	4,002	3,912	3,930	4,061	3,900	4,120
	中間処理施設からの搬入量(粗大ごみ処理施設)		0	0	0	0	0	0	0
	中間処理施設からの搬入量(資源化を行う施設)		158	141	160	173	145	163	177
	再生利用量		540	519	525	499	547	525	566
	最終処分量(焼却灰)		0	0	0	0	0	0	0
焼却以外の中間処理施設	焼却以外の中間処理量	t/年	592	596	820	629	581	568	583
	粗大ごみ処理施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	資源化を行う施設の中間処理量		592	596	820	629	581	568	583
	ごみ堆肥化施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	その他の施設の中間処理量		0	0	0	0	0	0	0
	再生利用量		304	282	285	307	287	288	289
	粗大ごみ処理施設		7	5	5	5	6	6	7
	資源化を行う施設		297	277	280	302	281	282	282
	ごみ堆肥化施設		0	0	0	0	0	0	0
	最終処分量(処理残渣)		0	39	82	34	134	101	46
	粗大ごみ処理施設		0	0	0	0	0	0	0
	資源化を行う施設		0	39	82	34	134	101	46
資源化	資源化量合計	t/年	1,496	1,402	1,380	1,338	1,362	1,329	1,302
	直接資源化量	t/年	209	209	217	197	218	219	218
	中間処理後再生利用量	t/年	844	801	810	806	834	813	855
	集団回収量	%	443	392	353	335	310	297	229
	リサイクル率	%	25.2	25.1	24.0	24.0	23.8	24.1	23.2
最終処分	最終処分量	t/年	686	421	543	516	682	621	518
	直接最終処分		686	382	461	482	548	520	472
	焼却残渣量		0	0	0	0	0	0	0
	焼却以外の中間処理施設の処理残渣量		0	39	82	34	134	101	46

【出典】 「ごみ処理の概要」(平成25～31年度実績) (環境省)



図Ⅲ-10 佐用町のごみ処理量の推移(参考)



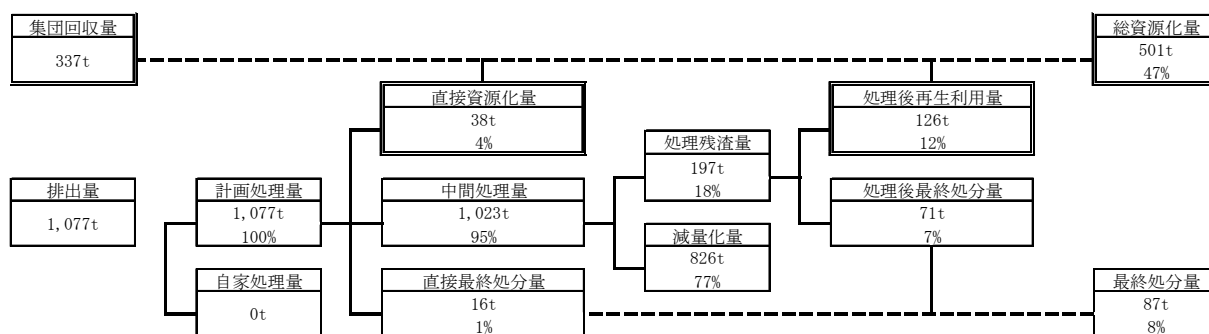
### 3. ごみ処理フロー

組合圏域の各自治体におけるごみ処理フローを図Ⅲ-11～15に示す。

#### ① 姫路市安富地域におけるごみ処理フロー(参考)

姫路市安富地域の実績値は、姫路市の実績値から按分によって算定したため、排出量と処理量が一致しない場合がある。

平成31年度のごみ処理量は1,077 tであり、総資源化量は164t、最終処分量は87tであった。

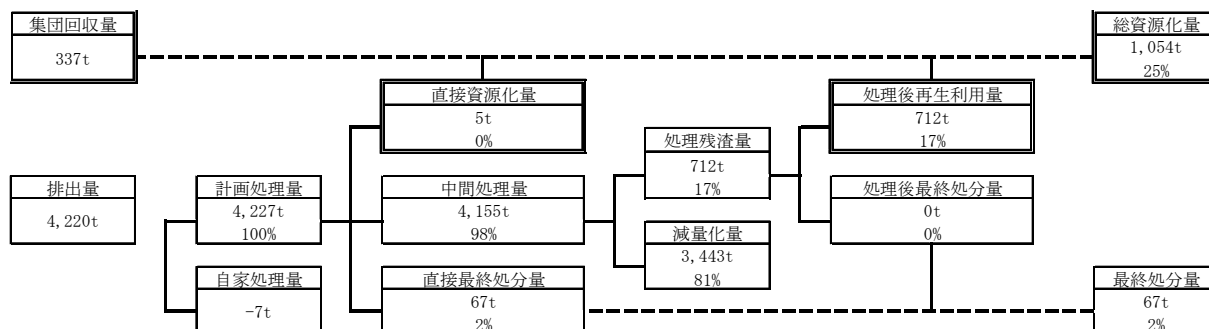


図Ⅲ-11 姫路市安富地域のごみ処理状況フロー(参考)(平成31年度)

#### ② たつの市新宮地域におけるごみ処理フロー(参考)

たつの市新宮地域の実績値は、たつの市の実績値から按分によって算定したため、排出量と処理量が一致しない場合がある。

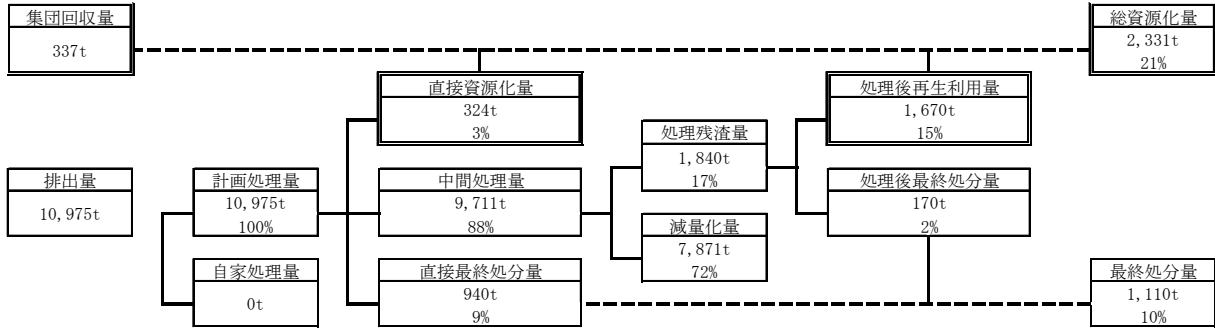
平成31年度のごみ処理量は4,220 t、総資源化量は961t、最終処分量は67tであった。



図Ⅲ-12 たつの市新宮地域のごみ処理状況フロー(参考)(平成31年度)

③ 宍粟市におけるごみ処理フロー(参考)

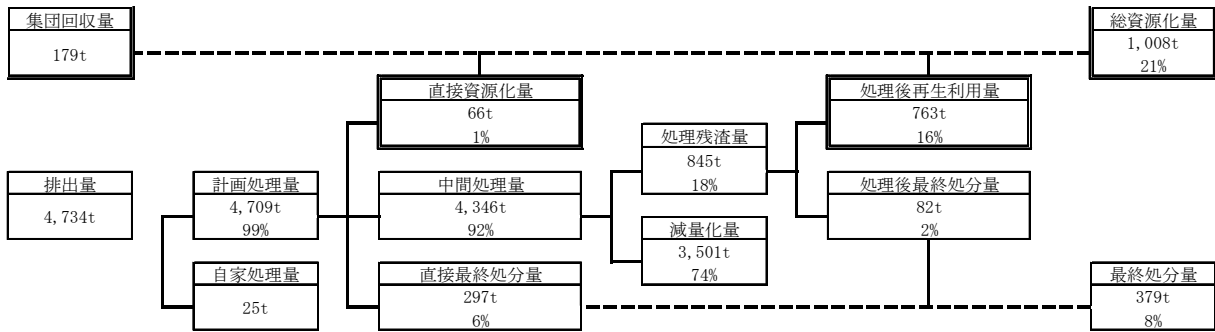
平成31年度のごみ処理量は10,975 t、総資源化量は2,604t、最終処分量は1,110tであった。



図Ⅲ-13 宍粟市のごみ処理状況フロー(参考)(平成31年度)

④ 上郡町におけるごみ処理フロー(参考)

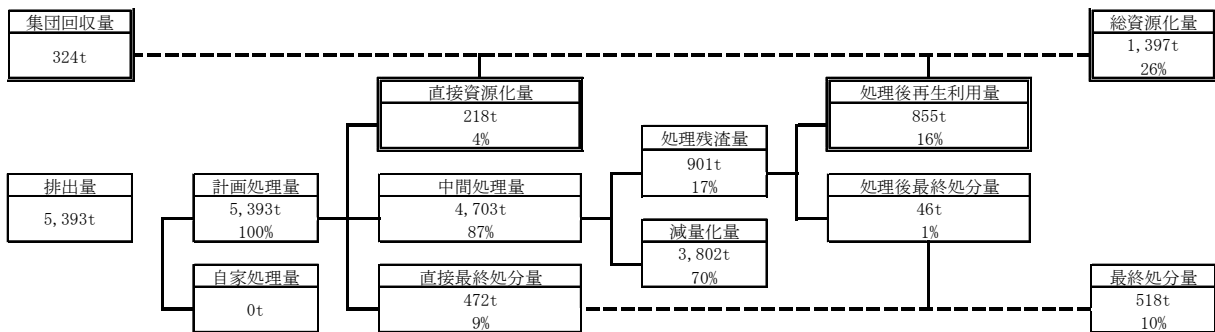
平成31年度のごみ処理量は4,734 t、総資源化量は1,008t、最終処分量は379tであった。



図Ⅲ-14 上郡町のごみ処理状況フロー(参考)(平成31年度)

⑤ 佐用町におけるごみ処理フロー(参考)

平成31年度のごみ処理量は5,393 t、総資源化量は1,302t、最終処分量は518tであった。



図Ⅲ-15 佐用町のごみ処理状況フロー(参考)(平成31年度)

## 資料Ⅳ 組合圏域におけるごみ収集体制

組合圏域におけるごみの収集運搬は、各市町の取扱い事務となっており、ごみの分別区分に応じた収集体制は市町ごとにシステムが異なっている。

### 1. 収集形態及び収集回数

ごみ収集の概要を表Ⅳ-1に示す。

組合圏域の各自治体のごみ収集形態は、ほとんどがステーション方式となっている。

表Ⅳ-1 ごみの収集形態及び収集回数

区分	姫路市安富地域	たつの市新宮地域	宍粟市	上郡町	佐用町
可燃ごみ	ステーション方式 週2回	ステーション方式 週2回	ステーション方式 週1回	ステーション方式 週2回	ステーション方式 週1回
不燃ごみ	ステーション方式 月2回	ステーション方式 月1回	ステーション方式 月2回	ステーション方式 月1回	ステーション方式 月1回
資源ごみ	ステーション方式 月2回	ステーション方式 月1回	ステーション方式 月1～2回	ステーション方式 月1回～2ヶ月1回	ステーション方式 月1～2回
粗大ごみ	ステーション方式 月2回	ステーション方式 月1回	ステーション方式 月2回	ステーション方式 月1回	ステーション方式 年4回
特殊ごみ	ステーション方式 月2回	ステーション方式 月1回	ステーション方式 年3回	ステーション方式 3ヶ月1回	ステーション方式 年6回

資料V 組合圏域における最終処分場の概要

組合圏域内に設置された最終処分場の概要を表V-1(1), (2)に示す。

収集及び直接搬入された不燃ごみ及び中間処理にて発生した残渣等は、ごみ搬入量に応じて排出元自治体の最終処分場において埋立処分されている。

表V-1 最終処分場の概要(1)

施設の名称	たつの市一般廃棄物 最終処分場	宍粟北残渣最終処分場
施設管理者	たつの市	宍粟市
処理対象 区 域	たつの市新宮地域	宍粟市
所 在 地	たつの市龍野町中井1067番地1	宍粟市千種町岩野辺177番地157
対象廃棄物	埋立ごみ	不燃残渣
埋 立 期 間	昭和61年～令和32年	平成20年～令和8年
埋 立 面 積	11,554m <sup>2</sup>	9,840m <sup>2</sup>
埋 立 容 積	82,543m <sup>3</sup>	35,000m <sup>3</sup>
埋 立 残 余 容 積	9,352m <sup>3</sup>	18,667m <sup>3</sup>
計 量 機	有	無
浸出水処理 設 備	凝集沈殿, 生物処理(脱窒あり), 砂ろ過, 活性炭処理	凝集沈殿, 生物処理(脱窒なし), 砂ろ過, 消毒, 活性炭処理

注：埋立残余容積は平成31年3月末時点

表V-1 最終処分場の概要(2)

施設の名称	上郡町最終処分場	佐用クリーンセンター 第2一般廃棄物最終処分場
施設管理者	上郡町	佐用町
処理対象 区 域	上郡町	佐用町
所 在 地	赤穂郡上郡町栗原字猿子966番地1	佐用郡佐用町佐用3280番地129
対象廃棄物	埋立ごみ、不燃残渣	埋立ごみ、不燃残渣
埋 立 期 間	平成12年～令和54年	平成4年～令和8年
埋 立 面 積	8,825m <sup>2</sup>	27,000m <sup>2</sup>
埋 立 容 積	50,000m <sup>3</sup>	174,000m <sup>3</sup>
埋 立 残 余 容 積	30,285m <sup>3</sup>	66,839m <sup>3</sup>
計 量 機	有	有
浸出水処理 設 備	生物処理(脱窒なし), 砂ろ過, 消 毒, 活性炭処理, キレート処理	凝集沈殿, 砂ろ過, 消毒

注：埋立残余容積は平成25年3月末時点

## 資料VI ごみ減量化・資源化の施策

ごみの減量化・資源化に関する施策や住民等への啓発は、主として構成市町の事務となっている。ここでは、指定袋制度の導入の状況や、ごみ減量化のための助成制度等について、市町の取組み状況をまとめた。

### 1. 指定袋の価格及び直接搬入による有料化の状況

指定袋等の状況を表VI-1に示す。また、直接搬入による有料化の状況を表VI-2に示す。

表VI-1 指定袋等の状況

区分	姫路市安富地域	たつの市新宮地域	宍粟市	上郡町	佐用町
可燃ごみ	市場価格	指定ごみ袋 手提げ大：15円/枚 大：10円/枚 中：7円/枚 小：6円/枚	指定ごみ袋 大：25円/枚 小：20円/枚	指定ごみ袋 大：35円/枚 小：20円/枚	指定ごみ袋 大：40円/枚 小：25円/枚
不燃ごみ	-	-	指定ごみ袋 20円/枚	指定ごみ袋 70円/枚	指定ごみ袋 40円/枚
資源ごみ	-	-		-	-
粗大ごみ	-	-	指定シール 20円/枚	指定シール 70円/枚	粗大ごみシール 80円/枚
特殊ごみ	-	-		-	-

表VI-2 直接搬入による有料化の状況

区分	姫路市安富地域	たつの市新宮地域	宍粟市	上郡町	佐用町
可燃ごみ	100円/10kg				
不燃ごみ	100円/10kg				
資源ごみ	無料				
粗大ごみ	100円/10kg				
埋立ごみ	100円/10kg	70円/10kg	50円/10kg	(100kg未満) 30円/10kg (100kg以上) 500円/100kg	100円/10kg

## 2. ごみ減量化・資源化のための助成及び補助の状況

組合圏域の各自治体は、ごみ減量化・資源化の施策として、集団回収への助成や生ごみ処理機等購入補助を行っている。

集団回収への助成状況を表VI-3、生ごみ処理機等への購入補助状況を表VI-4に示す。

表VI-3 集団回収への助成状況

区分	姫路市 安富地域	たつの市 新宮地域	宍粟市	上郡町*	佐用町
新聞・雑誌	5円/kg	8円/kg	10円/kg	2円/kg	5円/kg
段ボール	5円/kg	8円/kg	10円/kg	2円/kg	5円/kg
ペットボトル	-	-	10円/kg	-	-
びん	-	-	5円/kg	-	5円/kg
スチール缶	-	-	5円/kg	-	-
アルミ缶	-	8円/kg	5円/kg	-	5円/kg
古布等	-	8円/kg	10円/kg	-	5円/kg
紙バック	-	-	10円/kg	-	-

〔備考〕上郡町の奨励金は、売却金額を差し引いた金額

表VI-4 生ごみ処理機等への購入補助状況

区分		姫路市 安富地域	たつの市 新宮地域	宍粟市	上郡町*	佐用町
堆肥化 容器購 入補助	補助率		-	-	-	1/2
	限度額		-	-	-	25,000円
	その他		-	-	-	1世帯につき1基
電気式 生ごみ 処理機 購入補 助	補助率	1/2	-	1/2	-	-
	限度額	20,000円	-	20,000	-	-
	その他	1世帯につき1基	-	1世帯につき1基	-	-

## 資料Ⅶ ごみの性状（可燃ごみ組成調査結果）

平成25年度から平成31年度までのごみ質分析結果を示す。

表Ⅶ-1 平成25年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%			52.2	57.3	44.6	45.6	45.0	50.8	51.9	57.4	55.0	63.5	523.3	52.3
	木・竹・わら類	%			9.7	12.2	8.7	4.0	10.1	7.0	6.3	5.9	3.1	5.9	72.9	7.3
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%			20.8	19.3	32.2	34.4	23.5	29.0	20.9	26.1	26.2	17.9	250.3	25.0
	厨芥類	%			8.0	7.0	11.8	6.5	4.4	7.1	13.9	6.1	6.0	7.7	78.5	7.9
	不燃物類	%			1.5	0.6	0.0	2.4	4.0	0.7	3.1	2.3	3.1	0.9	18.6	1.9
	その他	%			7.8	3.6	2.7	7.1	13.0	5.4	3.9	2.2	6.6	4.1	56.4	5.6
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>				140.0	177.0	169.0	153.0	147.0	165.0	123.0	134.0	150.0	164.0	1,522.0	152.2
三成分	水分	%			49.5	49.5	50.5	43.3	46.7	38.3	48.5	41.6	41.4	44.2	453.5	45.4
	可燃分	%			46.0	46.0	45.2	49.1	44.0	54.2	46.4	54.1	49.9	48.6	483.5	48.4
	灰分	%			4.5	4.5	4.3	7.6	9.3	7.5	5.1	4.3	8.7	7.2	63.0	6.3
低位発熱量(実測値)	J/g			8,990.0	8,400.0	9,450.0	9,170.0	7,260.0	12,190.0	7,970.0	11,210.0	9,290.0	8,330.0	92,260.0	9,226	
低位発熱量(計算値)	J/g			7,420.0	7,420.0	7,250.0	8,150.0	7,110.0	9,250.0	7,510.0	9,140.0	8,370.0	8,050.0	79,670.0	7,967	

表Ⅶ-2 平成26年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%	59.4	36.9	49.5	26.0	31.7	56.3	60.7	42.4	47.0	56.6	52.1	41.3	559.9	46.7
	木・竹・わら類	%	7.5	7.7	6.6	14.4	9.5	4.8	4.5	4.7	14.5	0.6	10.9	10.5	96.2	8.0
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	29.8	43.8	20.9	49.4	34.1	25.8	23.1	34.9	25.7	26.1	22.7	23.2	359.5	30.0
	厨芥類	%	1.7	4.5	8.6	1.3	1.4	6.2	5.0	9.7	4.7	13.5	9.5	21.5	87.6	7.3
	不燃物類	%	0.3	3.7	7.1	3.0	19.9	2.3	3.3	3.4	4.9	1.5	0.5	0.1	50.0	4.2
	その他	%	1.3	3.4	7.3	5.9	3.4	4.6	3.4	4.9	3.2	1.7	4.3	3.4	46.8	3.9
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>		40.0	40.0	148.0	49.0	327.0	160.0	164.0	121.0	126.0	113.0	156.0	137.0	1,581.0	131.8
三成分	水分	%	16.6	17.1	45.7	36.9	53.8	48.1	50.5	35.4	53.7	41.2	48.1	43.2	490.3	40.9
	可燃分	%	74.2	72.3	47.2	57.8	34.3	46.6	44.9	54.0	38.2	52.4	42.7	53.7	618.3	51.5
	灰分	%	9.2	10.6	7.1	5.3	11.9	5.3	4.6	10.6	8.1	6.4	9.2	3.1	91.4	7.6
低位発熱量(実測値)	J/g	15,800.0	17,030.0	8,120.0	15,070.0	7,220.0	8,920.0	7,420.0	10,660.0	5,710.0	8,670.0	6,980.0	9,920.0	121,520.0	10,127	
低位発熱量(計算値)	J/g	13,570.0	13,180.0	7,760.0	9,960.0	5,110.0	7,560.0	7,180.0	9,280.0	5,850.0	8,830.0	6,840.0	9,020.0	104,140.0	8,678	

表Ⅶ-3 平成27年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%	45.3	38.2	36.9	42.7	52.5	34.8	39.2	39.2	47.1	46.8	55.5	57.2	535.4	44.6
	木・竹・わら類	%	7.5	21.6	7.0	6.7	8.3	9.8	13.7	11.7	5.8	2.6	1.8	8.8	105.3	8.8
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	27.4	20.0	31.9	40.2	25.6	43.9	35.6	19.9	22.1	28.7	22.2	25.5	343.0	28.6
	厨芥類	%	13.0	5.9	9.7	7.0	6.6	9.1	5.1	8.9	12.8	19.4	11.0	3.9	112.4	9.4
	不燃物類	%	4.1	0.5	9.2	0.0	1.9	0.6	1.5	9.2	0.7	0.2	5.2	0.5	33.6	2.8
	その他	%	2.7	13.8	5.3	3.4	5.1	1.8	4.9	11.1	11.5	2.3	4.3	4.1	70.3	5.8
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>		134	159	172	158	214	98	251	81	132	152	109	121	1,781	148.4
三成分	水分	%	44.0	48.6	50.9	50.9	35.4	39.7	53.6	35.1	53.1	45.5	45.5	34.2	536.5	44.7
	可燃分	%	45.5	44.2	42.0	46.3	51.0	56.6	42.1	54.8	41.7	50.1	49.2	61.3	584.8	48.7
	灰分	%	10.5	7.2	7.1	2.8	13.6	3.7	4.3	10.1	5.2	4.4	5.3	4.5	78.7	6.6
低位発熱量(実測値)	J/g	7,350	8,200	6,190	7,280	10,940	13,900	8,490	10,030	7,530	10,210	7,870	11,910	109,900	9,158	
低位発熱量(計算値)	J/g	7,470	7,100	6,630	7,440	8,730	9,660	6,590	9,440	6,530	8,280	8,120	10,690	96,680	8,057	

表Ⅶ-4 平成28年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%	47.2	41.1	45.1	60.5	40.6	53.2	55.3	54.7	59.6	49.3	48.0	53.5	608.1	50.7
	木・竹・わら類	%	6.8	16.6	8.6	1.6	4.6	7.1	2.1	4.0	4.0	8.6	1.8	4.4	70.2	5.9
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	26.5	24.7	23.4	28.9	26.3	28.7	33.5	30.8	21.2	25.0	26.2	27.8	323.0	26.9
	厨芥類	%	6.4	9.7	7.4	5.9	15.8	2.5	3.7	4.2	11.6	4.1	12.5	8.6	92.4	7.7
	不燃物類	%	4.0	2.0	3.8	0.4	2.1	2.0	1.5	1.5	0.9	5.6	7.6	0.6	32.0	2.7
	その他	%	9.1	5.9	11.7	2.7	10.6	6.5	3.9	4.8	2.7	7.4	3.9	5.1	74.3	6.1
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>		135	152	176	177	160	197	103	107	144	169	120	110	1,750	145.8
三成分	水分	%	45.1	50.0	48.2	45.4	51.3	50.6	35.0	46.0	39.4	48.0	44.1	56.9	560.0	46.7
	可燃分	%	42.3	43.6	45.6	52.3	43.5	44.4	59.0	49.9	53.5	44.6	44.9	38.8	562.4	46.9
	灰分	%	12.6	6.4	6.2	2.3	5.2	5.0	6.0	4.1	7.1	7.4	11.0	4.3	77.6	6.4
低位発熱量(実測値)	J/g	8,800	7,230	8,750	9,220	7,760	6,500	13,140	9,120	11,170	7,610	10,430	7,470	107,200	8,933	
低位発熱量(計算値)	J/g	6,830	6,690	7,380	8,710	6,900	7,090	10,240	8,240	9,080	7,200	7,350	5,880	91,590	7,633	

表Ⅶ-5 平成29年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%	56.4	37.2	49.8	27.6	53.4	45.2	47.8	58.2	49.2	43.2	50.1	52.4	570.5	47.6
	木・竹・わら類	%	6.1	9.8	9.3	6.8	6.9	12.4	3.2	9.0	4.5	6.4	9.6	4.8	88.8	7.4
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	19.6	22.6	25.7	37.9	27.4	31.7	29.0	23.4	27.3	28.8	20.0	22.6	316.0	26.3
	厨芥類	%	14.7	13.1	7.9	11.7	7.0	7.3	13.1	2.9	10.2	18.1	6.7	10.0	122.7	10.2
	不燃物類	%	1.2	9.6	3.8	12.0	2.0	0.4	2.6	4.3	5.9	1.1	7.8	8.5	59.2	4.9
	その他	%	2.0	7.7	3.5	4.0	3.3	3.0	4.3	2.2	2.9	2.4	5.8	1.7	42.8	3.6
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>		178	146	108	175	161	132	149	115	77	118	150	89	1,598	133.2
三成分	水分	%	41.6	45.6	40.8	42.8	49.1	55.4	46.2	42.1	40.9	48.6	46.3	40.4	539.8	45.0
	可燃分	%	52.2	42.1	49.4	47.0	44.6	41.5	46.0	48.4	51.1	46.6	44.0	48.4	561.3	46.9
	灰分	%	6.2	12.3	9.8	10.2	6.3	3.1	7.8	9.5	8.0	4.8	9.7	11.2	98.9	8.1
低位発熱量(実測値)	J/g	9,520	8,540	10,450	11,390	8,820	8,230	6,340	9,510	12,170	8,830	7,600	6,720	108,120	9,010	
低位発熱量(計算値)	J/g	8,780	6,790	8,280	7,780	7,160	6,420	7,500	8,060	8,610	7,560	7,120	8,100	92,160	7,680	

表Ⅶ-6 平成30年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%	54.9	39.3	46.2	32.7	49.6	58.0	33.7	38.4	36.2	50.8	63.2	45.8	548.8	45.7
	木・竹・わら類	%	4.2	7.8	7.7	3.7	6.2	10.2	7.4	16.2	9.8	7.7	6.9	5.0	92.8	7.7
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	21.8	30.3	28.2	45.0	19.4	22.7	34.5	22.7	29.3	25.8	20.4	22.5	322.6	26.9
	厨芥類	%	14.4	9.5	7.7	8.5	15.6	5.6	3.2	6.2	13.3	5.6	5.0	8.2	102.8	8.6
	不燃物類	%	1.0	8.0	3.4	6.2	3.9	0.2	12.9	5.0	3.3	6.8	1.8	10.1	62.6	5.2
	その他	%	3.7	5.1	6.8	3.9	5.3	3.3	8.3	11.5	8.1	3.3	2.7	8.4	70.4	5.9
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>		137	110	93	110	124	128	97	135	129	89	82	106	1,340	111.7
三成分	水分	%	43.7	31.3	46.7	29.8	39.0	45.6	40.8	47.4	44.8	40.4	39.1	41.8	490.4	40.9
	可燃分	%	48.2	58.7	46.4	60.0	51.6	50.1	46.2	41.9	48.6	50.3	49.5	47.1	598.6	49.9
	灰分	%	8.1	10.0	6.9	10.2	9.4	4.3	13.0	10.7	6.6	9.3	11.4	11.1	111.0	9.2
低位発熱量(実測値)	J/g	7,680	14,770	7,250	11,790	7,610	7,250	10,910	7,840	10,200	9,970	9,810	9,190	114,270	9,523	
低位発熱量(計算値)	J/g	7,980	10,270	7,570	10,550	8,730	8,290	7,670	6,700	8,020	8,460	8,350	7,820	100,410	8,368	

表Ⅶ-7 平成31年度

分析項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
種類組成	紙・布類	%	33.5	43.6	52.1	61.6	60.4	43.6	36.1	45.1	29.6	55.0	51.8	40.0	552.4	46.0
	木・竹・わら類	%	26.6	23.2	5.8	6.1	3.1	12.2	16.1	21.4	14.6	2.1	3.1	20.6	154.9	12.9
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	20.7	21.1	29.9	20.7	26.3	34.4	29.9	22.7	27.4	29.3	17.7	20.1	300.2	25.0
	厨芥類	%	12.8	6.8	8.5	5.0	8.2	2.9	8.3	4.1	25.9	10.7	14.7	9.5	117.4	9.8
	不燃物類	%	0.5	1.6	1.4	3.6	2.0	5.1	7.8	6.7	1.0	0.1	12.6	6.1	48.5	4.0
	その他	%	5.9	3.7	2.3	3.0	0.0	1.8	1.8	0.0	1.5	2.8	0.1	3.7	26.6	2.2
見掛比重	kg/m <sup>3</sup>		146	162	131	114	119	135	109	91	124	76	80	108	1,395	116.3
三成分	水分	%	45.5	40.0	34.5	38.5	47.1	41.9	47.1	38.9	41.4	42.9	39.6	41.7	499.1	41.6
	可燃分	%	49.6	56.7	57.0	53.3	41.7	47.4	43.3	50.9	53.0	52.5	47.0	44.7	597.1	49.8
	灰分	%	4.9	3.3	8.5	8.2	11.2	10.7	9.6	10.2	5.6	4.6	13.4	13.6	103.8	8.6
低位発熱量(実測値)	J/g	9,250	11,350	10,610	8,290	8,250	11,130	8,050	10,940	13,240	11,830	9,240	8,070	120,250	10,021	
低位発熱量(計算値)	J/g	8,210	9,680	9,870	9,070	6,660	7,880	6,970	8,610	8,940	8,810	7,860	7,370	99,930	8,328	



## 資料Ⅷ 将来人口の推計

本計画においてごみ発生量等の予測の前提となる将来人口は、下記の方法を用いて推計した。

### 1. 計画目標年次

本計画の目標年次については、計画策定（平成31年度）より15年間（平成39年度）までとし、この期間の各項目の将来予測を行った。

### 2. 将来人口の予測

本計画における計画収集人口は、各市町の行政区域内人口として予測を行い、検討を行うものとした。

組合圏域全体の人口推移は、各市町の予測結果を合計することで予測した。

#### 1) 推計方法

本計画での将来人口予測は、平成25年度から平成31年度までの7年間の人口実績に基づき、各種トレンド(すう勢)推計式を用いて将来予測を行った。

推計式については一般的に用いられるもののうち、表Ⅷ-1に示す7式を使うこととした。

また、宍粟市・上郡町・佐用町については、コーホート要因法を基礎とした「国立社会保障・人口問題研究所」（以下「人口問題研究所」という。）による、「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の推計結果を併記した。

推計式による推計結果と、人口問題研究所の推計結果を比較し、最もよく合う推計式を、将来人口の予測式として採用した。

表Ⅷ-1 基本フレーム検討推計式

推計方法	推計式	凡例
分数式	$y = \frac{a}{t} + b$	y：将来予測人口 t：将来予測年度  a, b, c：最小二乗法により求められる、係数 k：過去の実績値から求められる、人口の飽和値
べき乗式	$y = at^b$	
対数式	$y = a \cdot \ln(t) + b$	
指数式	$y = a \cdot \exp(bt)$	
一次式	$y = at + b$	
二次関数式	$y = at^2 + bt + c$	
ロジスティック式	$y = \frac{k}{1 + \exp(a - bt)}$	

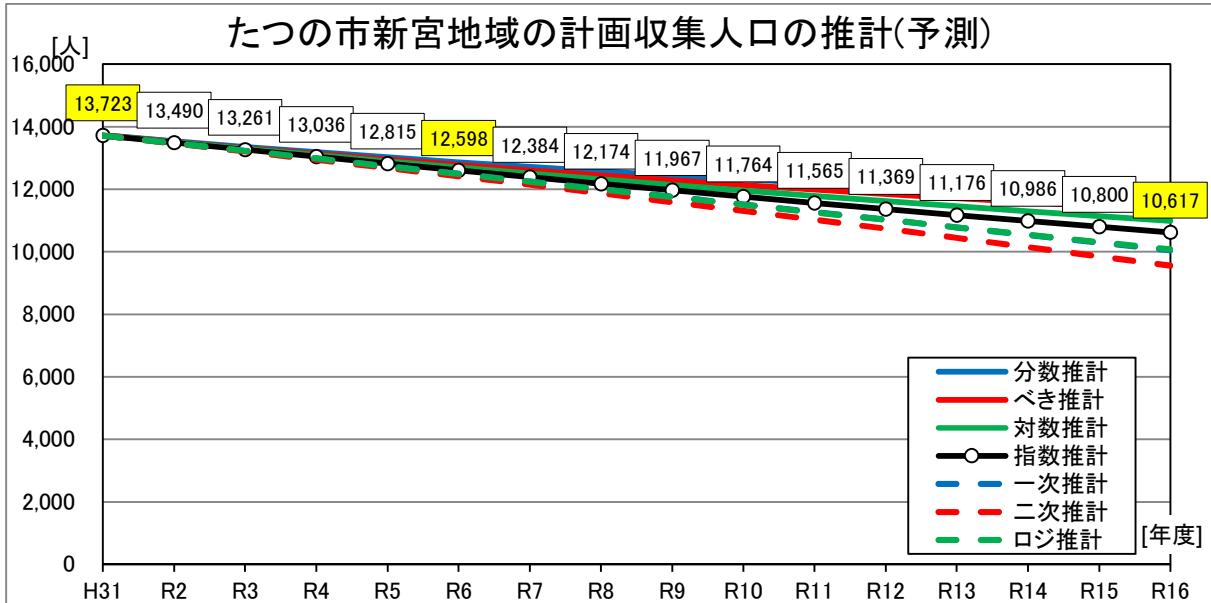
## 2) 推計（予測）結果

トレンド推計（予測）結果を図Ⅷ-1～4に示す。

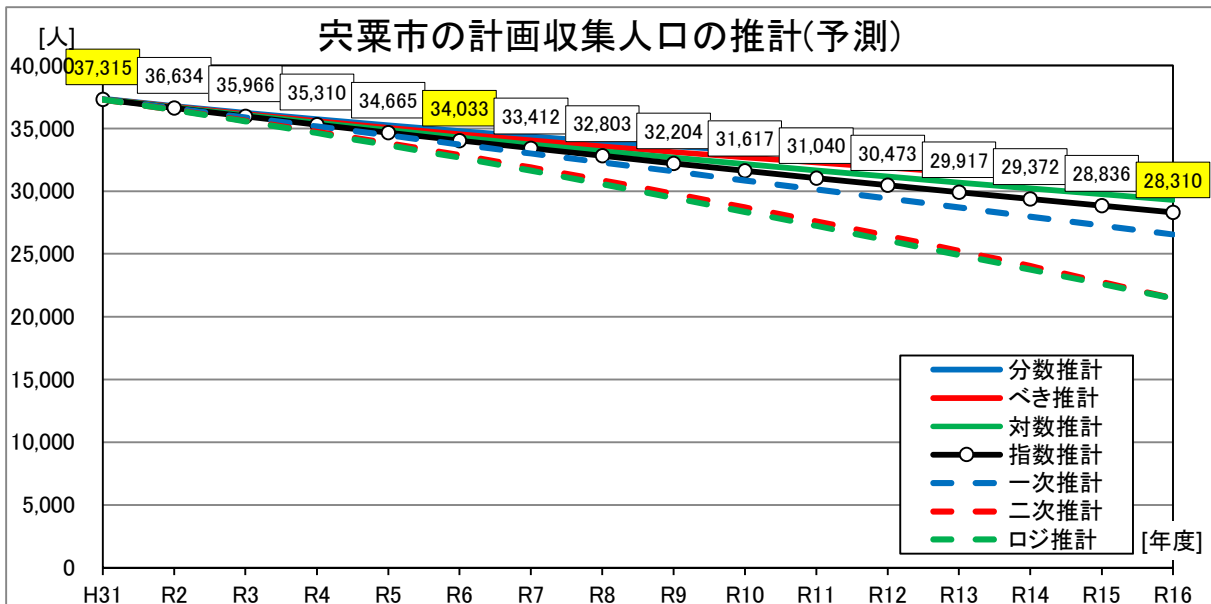
予測式はコーホート要因法と最もよく合う指数式を選んだ。

基準年度、中間目標年度、計画目標年度の予測値を黄色で示す。

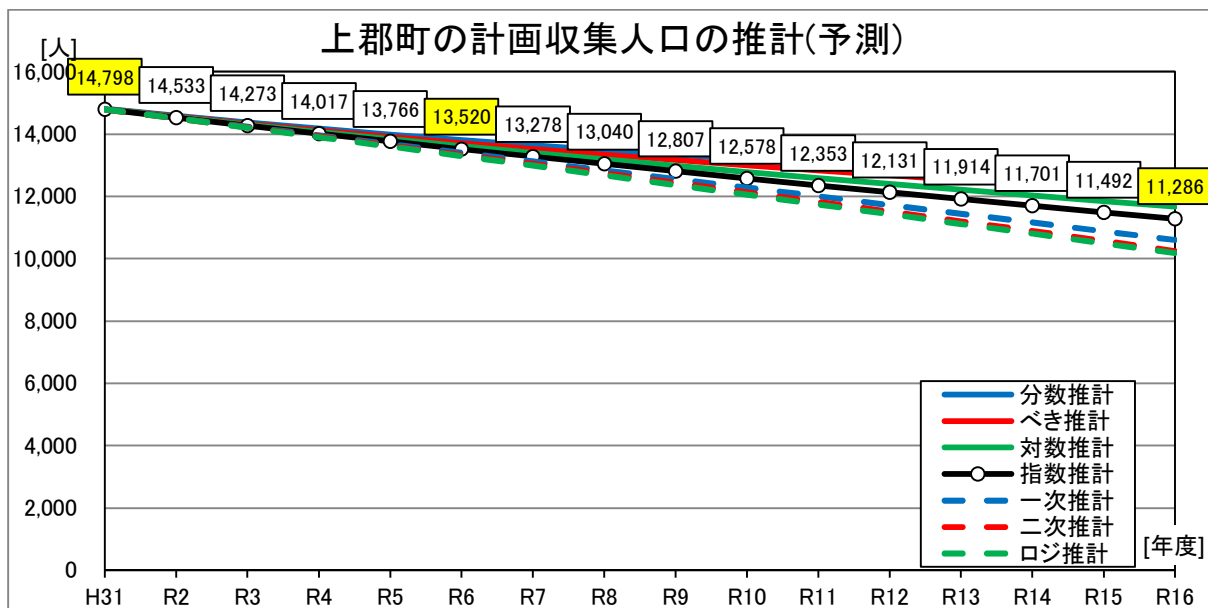
全ての地域で計画収集人口は減少傾向であった。



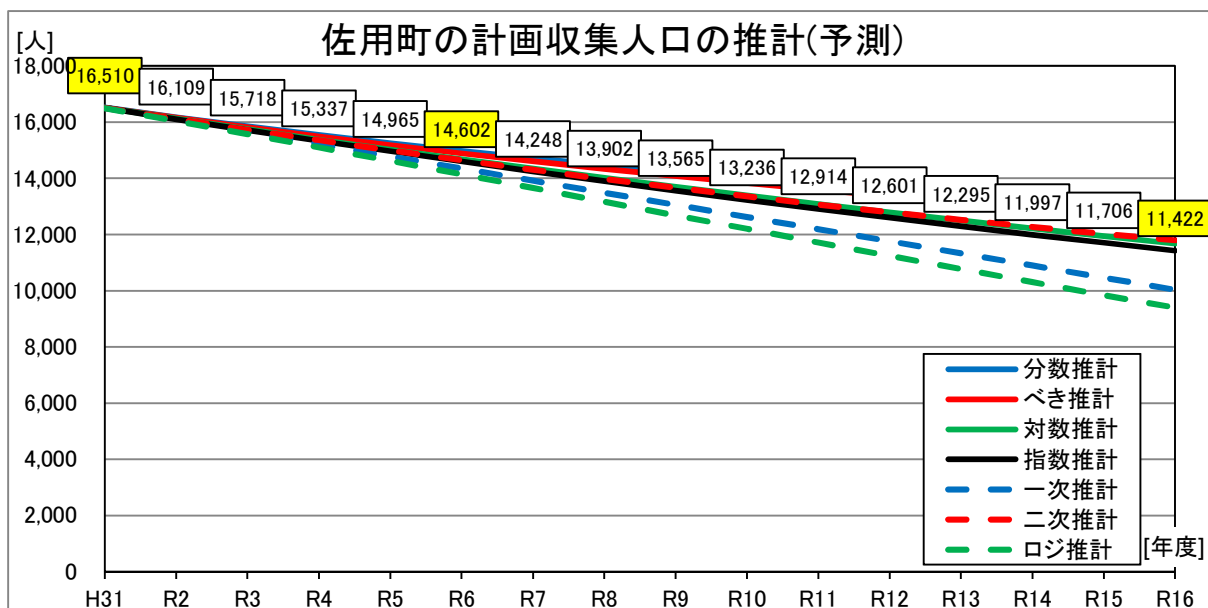
図Ⅷ-1 たつの市新宮地域のトレンド推計（予測）結果



図Ⅷ-2 宍粟市のトレンド推計（予測）結果



図Ⅷ-3 上郡町のトレンド推計(予測)結果



図Ⅷ-4 佐用町のトレンド推計(予測)結果

## 資料Ⅸ 災害ごみに関する状況

各自治体では、予期せぬ風水害等により発生する災害ごみについても、適切に対応し処理しなければならない。災害ごみへの対応については広域的な連携が求められており、にしほりまクリーンセンターにおいても、災害発生時の廃棄物処理の広域化は所掌事務の一つとなっている。

ここでは、平成21年8月に発生した台風9号による、組合圏域における災害ごみの発生状況について記す。

### 1. 災害発生状況

台風9号による人的被害及び住家被害の発生状況を表Ⅸ-1に示す。

表Ⅸ-1 被害の状況

市町名	人的被害（人）			住家被害（棟）				
	死者	行方不明者	負傷者	全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水	床下浸水
宍粟市			3	18	26	98	63	354
上郡町						17	41	76
佐用町	18	2	1	139	269	483	157	742

出典：平成21年度台風第9号災害検証報告書（平成22年8月、兵庫県台風第9号災害検証委員会）

### 2. 災害ごみへの対応

平成21年度の台風9号災害では、主に風水害による災害ごみが多量に発生した。災害ごみの処理は、「兵庫県災害廃棄物処理の相互応援に関する協定」（以下「応援協定」という。）により緊急の措置がとられた。

応援協定では、次の項目において、近隣自治体との連携がなされた。

- (1) 災害廃棄物処理に必要な資機材等の提供
- (2) 災害廃棄物処理に必要な職員の派遣
- (3) 焼却、破碎等の中間処理の実施

なお、兵庫県は、災害廃棄物処理計画策定説明会を開催（8/20）し、計画策定の方法、災害廃棄物処理事業費国庫補助金等の事務手続き及び家電リサイクル法に基づく適正処理について助言を行った。

### 3. 災害ごみの処理

台風9号による災害ごみの処理量を表IX-2に示す。

被災した市町からの応援要請（佐用町(8/10)、宍粟市(8/12)）をうけ、応援可能な市町が出勤し、仮置場までの災害廃棄物収集運搬（佐用町：8/11～26、宍粟市：8/14～21）、可燃ごみの焼却処理（佐用町：8/31～1/31、宍粟市：8/20～9/10）が、被災市町に加え応援市町においても行われた。また、民間処理業者においても相当量が処理された。

表IX-2 災害ごみの処理量

市町名	災害ごみ処理量 (佐用町：8/31～1/31、宍粟市：8/20～9/10、上郡町：8/11～11/8)			
	発生量	市町・事務組合で処理		民間処理
		域内での 処理量	応援市町で の処理量	
佐用町	19,659 t	4,503 t	9,766 t	5,390 t
宍粟市	3,818 t	30 t	313 t	3,475 t
上郡町	290 t	233 t	0 t	57 t

引用：兵庫県台風第9号災害検証委員会資料

備考：実施期間 H21. 8. 11～H21. 11. 8は国庫補助申請記載日